

令和4年度 鳥取大学-日南町連携事業報告会

日時：令和5年3月9日（木）13：30～

会場：日南町役場 交流ホール

1. 開会の挨拶

WG 座長 地域価値創造研究教育機構 教授 清水克彦
日南町長 中村 英明

2. 日南町から感謝状贈呈

農学部 教授 日置佳之

3. 事例報告

①中山間地域における課題解決及びSDGs推進に関する連携協定

日南町ショートタイムワーク

（報告者）農学部 講師 木原 奈穂子

②鳥取大学卒業生による日南町での取り組み

日南町地域おこし協力隊での活動

（報告者）日南町地域おこし協力隊 田中 里奈

③日南町の環境資源調査・報告

200年の森樹木調査

（報告者）農学部 教授 日置佳之

4. 閉会の挨拶

鳥取大学理事（地域連携担当）・副学長
地域価値創造研究教育機構長 藪田 千登世

配布資料

- ・鳥取大学・日南町連携事業報告会チラシ
- ・令和4年度鳥取大学日南町連携事業一覧及び各連携事業実績報告
- ・令和4年度までの主な経緯
- ・事例報告資料



鳥取大学・日南町連携事業報告会

日時：令和5年3月9日（木）13:30～15:00

場所：日南町役場 交流ホール



報告①	<p>中山間地域における課題解決及びSDGs推進に関する連携協定 ○日南町ショートタイムワーク</p> <p>令和元年度に実施した日南町『雇用・就労アンケート』において、60代、70代の雇用の場を求める声は非常に多い状況。 また、高齢者だけでなく子育て世代のお母さんなど、フルタイムは困難でも、ショートタイムなら働ける方々を、働き手を求める企業と繋げる仕組みを町内企業と連携し進めていくことが今後重要となる。 この事業では、鳥取大学、日南町、ソフトバンクが連携し、日南町における地域活動の人材不足を解消するための方法を模索・検討し、マッチングの仕組みづくり推進する。</p>	農学部 講師 木原 奈穂子
報告②	<p>鳥取大学卒業生による日南町での取り組み ○日南町地域おこし協力隊での活動</p> <p>田中さんは鳥取大学を卒業後、日南町地域おこし協力隊として活動しています。地域おこし協力隊になった理由から、これまでの活動内容、今後の展望についてご紹介いたします。</p>	日南町 地域おこし協力隊 田中 里奈
報告③	<p>日南町の環境資源調査・報告 ○200年の森樹木調査</p> <p>「子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』」と定義された「木育」は全国で広がっており、林業のまちと呼ばれる日南町でも木育を推進する施策として2017～2021年度に阿毘縁旧木下家住宅裏に「200年の森等木育整備事業」が実施された。 全国的にも、個人が所有する土地に樹齢200年のスギの木が叢生していることは珍しいが、一度も樹木の調査を実施したことがなく、適切な情報を把握出来ていない。 本事業では、200年の森を木育に役立てるための基礎資料を作成することを目的に、スギ林の調査を行った。</p>	農学部 教授 日置 佳之 関戸 志緒里

鳥取大学×ソフトバンク×日南町連携事業

日南町ショートタイムワーク プロジェクト 事業報告

2023.3.9

鳥取大学農学部 木原奈穂子

1

1. プロジェクト概要

●「中山間地域の課題解決に関する連携協定」に基づく 4つのプロジェクト

- ① 小学生の居場所確保と学力向上
- ② 母子手帳電子化による子育て支援
- ③ 日南町ショートタイムワーク
- ④ 保育, 介護分野におけるICT化

●プロジェクト背景

日野郡の求人倍率は他と比べて高水準
一方、『雇用・就労アンケート』(R元年度実施)で60・70代の雇用の場を求める声
子育て世帯を含め、ショートタイムワークでのマッチングの重要性が高まる

●プロジェクトの作業仮説

ショートタイムテレワーク, ショートタイムワーク等の仕組みを活用した業務管理, 業務委託, 業務発注のシステム構築により解決可能なのではないかと

2

2. 実施体制

●プロジェクトメンバー

日南町企画課 / 日南町商工会 / ソフトバンク / 鳥取大学

●運営方法

- ① おしごとバンク交流会の実施と体制の見直し
- ② まちづくり協議会の人手不足状況の調査
- ③ 学生インターンの実施
- ④ 近隣町との連携

3

3. 運営状況

実施日	活動内容	詳細・備考	報告
R4.4.14	オンライン打合せ	プロジェクト運営の新体制の確認	
R4.5.12	オンライン打合せ	ホームページでのマッチング, 次回イベント内容の検討	
R4.5.25	連携協議会	近隣町との情報共有 広域連携体制の打合せ(第1回は2022.1.21)	4-4
R4.5.31	オンライン打合せ	第3回おしごとバンク交流会の打合せ	
R4.6.3	第3回 おしごとバンク交流会	道の駅にちなん日野川の郷で実施	4-1
R4.6.13	オンライン打合せ	交流会の反省と今後のあり方の検討	
R4.6.7~8	まちづくり協議会調査	まちづくり協議会の運営と人手不足状況の調査	4-2
R4.7.20	オンライン打合せ	マッチングのあり方と実施体制の検討	
R4.8.17	オンライン打合せ	実施体制の検討	
R4.8.18	連携協議会	情報共有, 広域連携体制の検討	4-4

…つづく

4

実施日	活動内容	詳細・備考	報告
R4.8.18	連携協議会	情報共有, 広域連携体制の検討	4-4
R4.9.7	オンライン打合せ	実施体制と次回イベント(ふるさと祭り)の検討	
R4.8.22 ~9/21	夏季インターン	日南町内の短期事業体験と地域おこし協力隊活動体験	4-3
R4.9.22	連携協議会	情報共有, 広域連携体制の検討	4-4
R4.10.5	オンライン打合せ	次回イベント(ふるさと祭り)の確認	
R4.10.27	連携協議会	情報共有, 広域連携体制の検討	4-4
R4.10.30	おしごとバンク交流会 成果報告	「おしごとバンク交流会」の名称変更調査 対面での打合せ	4-1
R4.11.29	連携協議会	情報共有, 広域連携体制の検討	4-4
R4.11.30	オンライン打合せ	名称変更の結果共有と次回イベントの検討 今後のマッチング運営体制の検討	
R4.12.16	オンライン打合せ	今後の運営体制の検討	
R5.1.6	オンライン打合せ	次回イベント(にちなん・スキマdeお手伝い)の検討	
R5.1.10	連携協議会	情報共有, 広域連携体制の検討	4-4
R5.2.16	第1回 スキマdeお手伝い	農村での働き方の勉強会を実施 今後の運営体制の検討	4-1
R5.3.29	オンライン打合せ(予定)	今後の運営体制, マッチング体制の検討	

4. 実施内容報告

4-1. 「おしごとバンク交流会」の実施と体制の見直し

●第3回おしごとバンク交流会の実施

日時: 令和4年6月3日(金) 11:00~13:00

場所: 道の駅にちなん日野川の郷 多目的ホール

⇒ 平日の日中に道の駅に訪れる住民の少なさ

⇒ 「ハローワークと違って参加しやすい」という意見



7

●おしごとバンク交流会の成果報告

※ マッチングはせず.

これまでの成果報告ポスターの掲示と
新体制のための名称投票の実施

日時: 令和4年10月30日(日)

場所: 日南町総合文化センター・日南町役場

⇒「おしごとバンク」の定着とマンネリ化

⇒「短時間での働き方(ショートタイムワーク)」への回帰

⇒ 交流会の名称変更

「にちなん・スキマdeお手伝い」に

日南町 おしごとバンク交流会

「おしごとバンク交流会」とは
人手不足で悩む事業者と**ショートタイム**で働きたいと考える
皆様を繋ぐ取り組みです。
「子育ての合間に働きたい方、副業を探している方、
余暇を楽しみたい方にオススメです！！」

活動報告

～インターンシップ～



2021/8/22～28 計8名
2022/8/22～9/3 計3名

中山間地域ならではの空気を
感じながらのびのびと農作業を
体験しました。

～実績～
累計参加事業者数: 27社
累計参加者数: 13人
成立件数: 5件

おしごとバンク
のホームページ
はこちらから→



日南町 SoftBank 鹿児島大学

交流会の様子



開催回数
計3回

働く時間・期間は相談して
決めることができます。

参加者・事業者対象
アンケート結果は
こちらから→



参加者の声

自分でもできる
仕事が見つかった

直接、企業の方と
お話ができてよかった

もう少し
広報してほしい

もっとたくさんの
職種が欲しい

視野が広がった

☆オッサンショウウオからのお願い☆
名付け親になろう！
イベントの新名称を投票してね！





●第1回にちなん・スキマdeお手伝いの実施

※ マッチングはせず.

ショートタイムワークの考え方と仕事の切り出し方,
地域おこし協力隊制度の活用例の勉強会

日時: 令和5年2月16日(木) 13:30~15:00

場所: 日南町総合文化センター 多目的ホール

⇒ 南部町「しごとコンビニ」での仕事の出し方を紹介

⇒ 地域おこし協力隊制度の概要説明


⇒ 日南町での地域おこし協力隊の受け入れ事例紹介

11

**「にちなん・スキマdeお手伝い」
における説明会開催のお知らせ**

おしごとバンク交流会は

名称を
にちなん・スキマdeお手伝い
(に変更しました！)

第一回  **一般の方も大歓迎!!**

事業者の皆様を対象とした説明会

日時 令和5年2月16日(木)
13:30~15:00 (開場13:00)

場所 日南町文化センター
2階 多目的ホール
※参加費無料※

内容

- ・「ショートタイムワーク」とは
- ・仕事の切り出し方
- ・地域おこし協力隊制度の紹介等

リアルタイム配信・見逃し配信
もあります！

お問合せ・申し込みは日南町企画課まで！

問い合わせ先 日南町企画課
電話: 0859-82-1115
FAX: 0859-82-1478

主催: おしごとバンクを考える会
日南町 SoftBank 日南大学



12

4-2. まちづくり協議会の人手不足状況の調査

- 調査期間

令和4年6月7日(火)10:30～6月8日(水)17:00

- 調査対象

6地域のまちづくり協議会

- 調査方法

聞き取り調査

⇒ 地域資源を活用した地域独自の多様な取組み

⇒ 人手不足により地域の共同作業が「仕事」になりつつある

⇒ 「仕事」と人を結びつける手段がない(人海戦術)

13

4-3. 学生インターンの実施

- 実施日時

令和4年8月22日(月)～9月21日(水)

- 受入事業者

一般社団法人TARI

- インターン内容

日南町の事業者の仕事や暮らしを体験する

(①8/22～8/27, ②8/29～9/3の5泊6日, 2ターム)

日南町地域おこし協力隊の仕事を体験する

(③9/7～9/13, ④9/15～9/21の6泊7日, 2ターム)

⇒ 計6名の学生が参加

⇒ 農作業以外に, 地域活動にも参画

⇒ 応募したものの参加できなかった学生も別日でフォロー

14

短期 日南町 インターンシップ生 募★集

応募期間
6/22 ▶ 7/22

事前説明会
7/6 10:00 ~ 18:00

場所 鳥取大学農学部第1号館北棟3階
アグリビジネス会計学研究室

※ 説明会は短時間で終わりますので、お好きな時間にお越しください。

プログラム資料は研究室前で配布中

事前説明会の持ち物等、特に必要なものではありません。
みなさん心算で当日は研究室までおいでください！
また、今回の事前説明会に来られなかった人は、
ご連絡を頂ければオンラインで説明会を開催します。



インターンに際するご質問・ご相談は
LINE またはメールまで！
お気軽にお問い合わせください！

Mail:

募集中のコースはこちら！

日南町で過ごす5泊6日の短期インターン生活

町内の事業者さんのもとで、6日間の日南町暮らし！
地域の人とのふれあいや、中山間地域ならではの農作業体験
普段とは違う暮らし方、君はどう感じるかな？

活動期間 ① 8/22(月)～8/27(土)
② 8/29(月)～9/3(土)

募集人数 各回1人 **時給換算の報酬あり**

日南町多里地域の魅力発見調査隊

一田中と過ごす6泊7日の地域おこし協力隊体験

日南町地域おこし協力隊の田中と同じ仕事を体験！？
農作業や生き物調査にイベント！仕事内容は日によって様々
私と一緒に日南町暮らし、してみませんか？

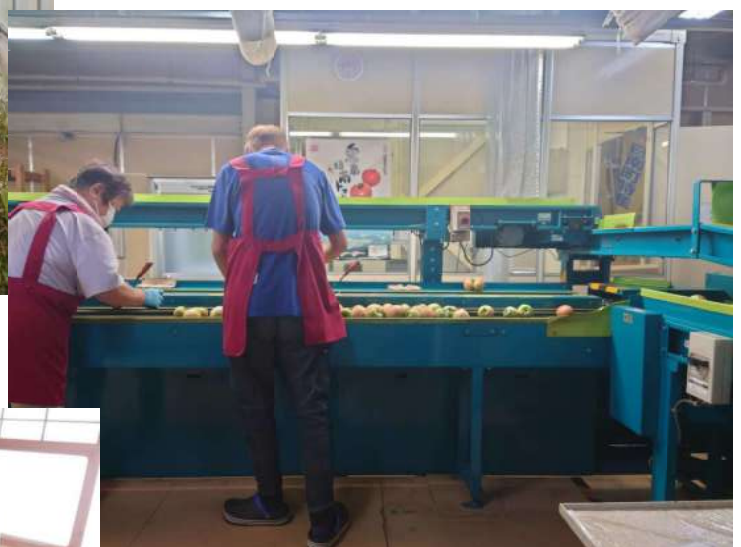
活動期間 ① 9/7(水)～9/13(火)
② 9/15(木)～9/21(水)

募集人数 各回1人 **日当あり**

詳しい内容は裏面を参照



15



16

4-4. 近隣町との連携

●実施体制

隔月に1回，対面会議

●連携先

西伯郡大山町（スキマ時間）

西伯郡南部町（しごとコンビニ）

●連携内容

各町での取り組み内容と課題の共有

広域連携で取り組むことができる課題の検討

⇒ 各町で異なる課題，連携して解決できる可能性

⇒ 行政だけではなく，取組み事業者間での連携が必要

⇒ それぞれの取組みの良いところを学び合う体制の構築

5. 今後の活動計画

●取り組み内容の一般化



①これまでの日南町での取り組みをまとめたブックレットが3月末に発売

②「にちなん・スキマdeお手伝い」で定期的な働き方の勉強会を実施

③「仕事」と人をつなぐ仕組みの構築

日南町地域おこし協力隊 田中について

田中 里奈

令和5年度
鳥取大学－日南町連携事業報告会

目次



- 自己紹介（経歴）
- 協力隊になった理由
- 協力隊の活動紹介
- 今までの活動を振り返って
- 来年の展望

自己紹介（経歴）



田中 里奈（たなか りな）

- ・鳥取県鳥取市出身
- ・鳥取県立八頭高等学校 卒業
- ・鳥取大学農学部を卒業後、日南町に移住。
令和4年4月より地域おこし協力隊として活動開始
- ・地域おこし協力隊になったきっかけは、
大学4年生の夏にインターンで日南町に
来た経験から

なぜ協力隊になったのか

大学3年生からコロナが流行 → 授業がオンライン、実習は無しに
部活の遠征も無し、バイトにも影響

やりきれない日々を過ごしてそのまま4年生へ

大学4年生になり、就活開始 → 鳥取県内で就職を考えていた
運送・食品・金融会社などを受ける

大学生活を満足に送れなかったこと、就活を通じて自分の認識の甘
さを知ったこと、将来的の夢を叶えたい気持ちなど

色々と考えて就活を一時的に辞める

なぜ協力隊になったのか

2021年8月 一般社団法人TARIで開かれた2泊3日の短期インターンに参加

町での体験が新鮮で、鮮明に思い出に残る
まだ知らない鳥取があるんだな、とその時感じた



なぜ協力隊になったのか

2021年10月 日南町の方々とオンラインで会議

そこで初めて地域おこし協力隊を意識し始める
その後、何度か話し合いを重ねる

2022年3月 日南町で面接 → 無事合格

2022年4月 日南町地域おこし協力隊として就任

人生で初めての1人暮らしが日南町でスタート！

2. 隊員業務の概要

A型：起業・半域型 (週5日活動)	日南町内の地域活動に週3日以上従事(残りの2日は起業にむけた自主活動)しながら、地域資源を活用した事業を構築し、その成果を日南町に還元できる起業を目指す。	
	活動支援団体	各事業団体等
B型：起業支援型 (週5日活動)	日南町商工会の経営支援専門員のサポートを受けながら、地域資源を活用した事業を構築し、その成果を日南町に還元できる起業を目指す。	
	活動支援団体	日南町商工会

一般社団法人 TARI

【法人の紹介】

一般社団法人TARIは、日南町へ移住して12年の代表を中心に令和2年12月に設立しました。現在、農地の集積・管理、ドローンを用いて水稲の防除を行っています。

令和4年度からは多里地域をより多くの方に知っていただけるようSNS、動画投稿サイトへの情報発信を行う予定です。

『鳥取暮らしアドバイザー』を務める代表、職員が在籍しておりますので、任期の間サポートを行いますので、自ら起業しようという熱意のある方の応募をお待ちしています。

【隊員の業務内容】

映像記録・配信、PR紙のデザイン作成等

【求める人材】

- ①Word、Excel、PowerPointが操作できる方
- ②Illustrator等のデザインツールが使用できる方
- ③地域おこし協力隊期間満了後独立起業を目指す方

【採用予定時期・人数】

- 令和4年4月1日採用予定
- 採用予定人員：1人

【活動計画】

1年間の活動計画					
月	①地域課題発見	②地域実態把握	③協力依頼	④課題解決	⑤その他
4月～7月	・地域行事参加 ・地域探訪	・SNS発信 ・一社TARIHP作成	・SNS発信	・課題発見	・動画投稿
8月～11月	・地域行事参加 ・地域探訪	・SNS発信 ・一社TARIHP更新	・SNS発信 ・地域課題を基に頒布物作成 (Businessデザイン作成)	・課題発見	・動画投稿
12月～3月	・地域行事参加 ・地域探訪	・SNS発信 ・一社TARIHP更新	・SNS発信 ・地域課題を基に頒布物作成、頒布物の配布	・課題発見	・動画投稿 ・各種イベントへの参加



地域おこし協力隊の活動紹介

日南町地域おこし協力隊 田中のミッション

① SNSを利用した情報発信活動

→ Twitter、Facebook、noteを利用して日南町の観光スポット、イベント情報、田中の日々の生活の様子を発信。



note



Twitter



Facebook



地域おこし協力隊の活動紹介

日南町地域おこし協力隊 田中のミッション

① SNSを利用した情報発信活動



地域おこし協力隊の活動紹介

日南町地域おこし協力隊 田中のミッション

② 私と同世代の方が日南町に訪れるきっかけを作ること

→ 大学生が日南町と関わりを持つ機会を作る



地域おこし協力隊の活動紹介

日南町地域おこし協力隊 田中のミッション

③その他

→ 地域行事への参加、撮影による記録、自身の活動をまとめた頒布物の作成 etc...



上萩山の田植え



多里かしら打ちの撮影



田なかアーカイブ

地域おこし協力隊の活動紹介

日南町地域おこし協力隊 田中のミッション

③その他

→ オッサンショウグッズ等の作成やイベント参加



オッサンショウオ
クリアファイル



販売中の写真



コミケおしながき

今までの活動を振り返って

- ・教科書でしか知りえなかったことを、身をもって体験して考える機会が何度もあった。
 - ・人との会話に慣れてきた
 - ・私からの視点で日南町の魅力をさらに発信していきたいと思った。
 - ・自分の将来の夢が変化した
- 特技を生かした仕事をしつつ、地域と関わりを持てる仕事がしたいと思うようになった。

来年度の展望

来年度成し遂げること

- ・ 鳥マップの続編を発行
- ・ その他頒布物の作成
- ・ フリーマーケットへの参加

進めていきたいこと

- ・ 同世代の方と交流の機会を増やす
- ・ 絵本（紙芝居）の作成
- ・ 地域の人とバードウォッチング
- ・ 地域の子ども達との交流の機会を増やしていく



まとめ



- 自己紹介（経歴）
- 協力隊の活動紹介
- 協力隊になった理由
- 今までの活動を振り返って
- 来年度の展望



ご清聴ありがとうございました

鳥取県日南町阿毘縁の 木下家住宅のスギ巨木林

令和5（2023）年度鳥取大学・日南町連携事業報告会 2023.3.9

2021年10月21日撮影

鳥取大学農学部生態工学研究室
関戸志緒里・日置佳之

1

はじめに

木育

2004年に北海道で誕生

「子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』」¹⁾と定義された取り組みである。

木育の取り組みは全国で広がっており、林野庁においても木育の取り組みを推進している。²⁾



2

はじめに



林業のまち 日南町



2017～2021年度

「**200年の森等木育整備事業**」 実施³⁾



図 200年の森入口看板
2021年10月15日撮影

3

目的

樹木に関する調査

- ・ 毎木調査
- ・ 年輪調査



スギ巨木林の価値付け

林床植生に関する調査

- ・ 植生調査
- ・ 日射量調査
- ・ 土壌水分率調査



林床植生管理計画の立案

**200年の森を「木育」に役立てる
ための基礎的な資料を作成する
ことを目的とする**

4

調査地概要

鳥取県日野郡日南町阿毘縁1661

標高約600m

年間降水量：1961.8mm

年平均気温：11.2℃

温量指数：87.4（暖温帯上部に属する）

面積：約1.3ha

（日南町茶屋2017～2021のアメダスデータ^{4）}から標高補正）



5

調査地概要

歴史

1542～1566年

木下家がたたら製鉄を開始⁵⁾

1800年代前半

木下家が鉄穴流し跡地（自宅の裏）スギを植林⁶⁾

2001年

2000年の鳥取県西部地震によって被災した日南町役場を移転再建するため、木下家が2本のスギを寄贈

2018年
遊歩道整備



図 日南町役場入口の柱
2023年2月6日撮影
（日南町役場提供）

6

調査地概要

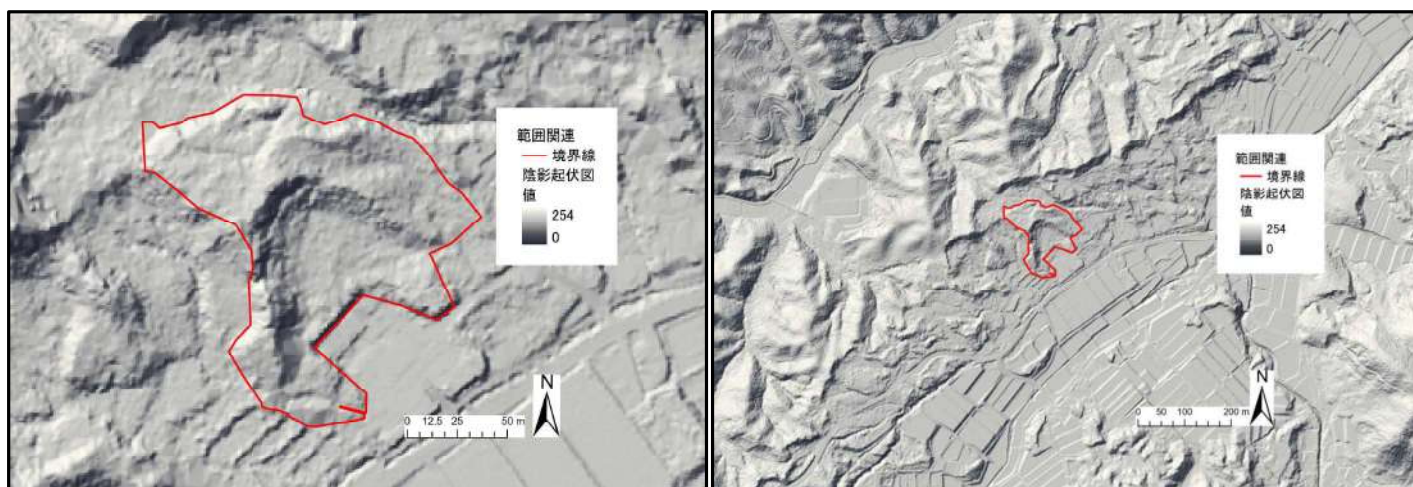


図 陰影起伏図（左：調査範囲 右：広域）

7

調査地概要

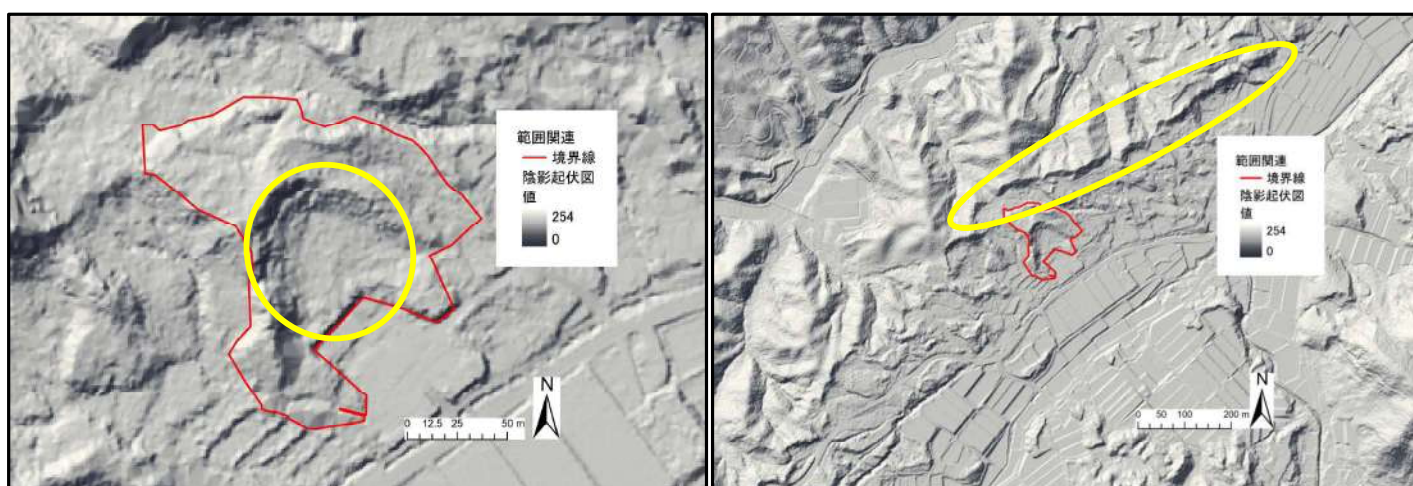


図 陰影起伏図（左：調査範囲 右：広域）

8

方法 毎木調査

- 調査区内に生育している樹木のうち、胸高周囲長（地上高約1.3mの幹の直径）が15cm以上の幹を対象として、種名、胸高周囲長、位置を記録した⁷⁾。

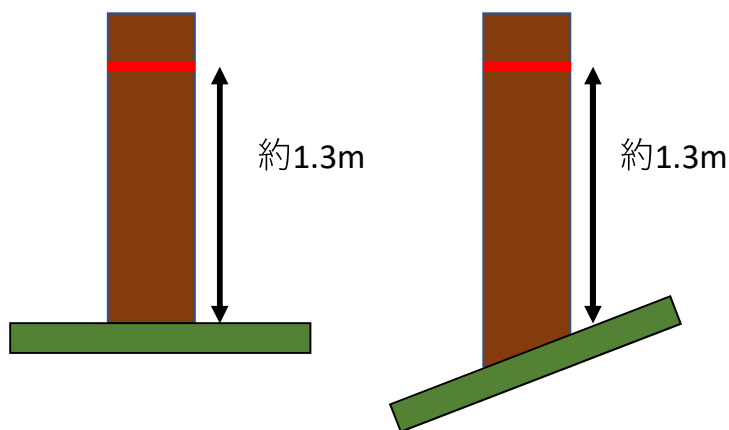


図 測定位置図



図 毎木調査の様子

9

方法 年輪調査

- 200年の森入口の切り株2つを対象に、年輪を計測した。
（切り株は2022年に高さ約40cmで伐採されたもの）
- 髓から樹皮までを東西南北の4方向に計測し、その平均を樹齢とした。ただし段差で正確に計測できない場合は可能な方向のみ計測した。



図 計測した切り株（2022年4月21日撮影）



図 計測の様子（2022年12月12日撮影）

10

方法 植生調査

- Braun-Blanquetの植物社会学的植生調査方法⁸⁾
- 1m²の方形区を26か所設置
- 春・夏・秋の3回実施

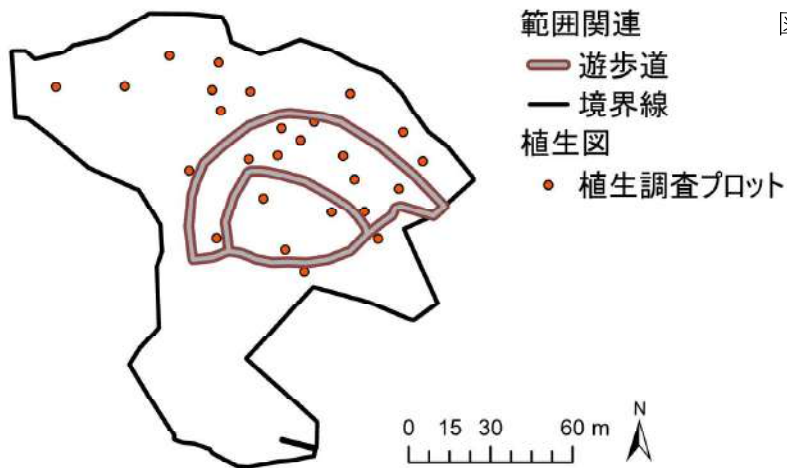


図 植生調査位置図



図 植生調査の様子



シャガ *Iris japonica*
(2022年5月9日撮影)



キバナアキギリ
Salvia nipponica
(2022年10月1日撮影)

11

方法 日射量調査

- 園芸支柱を使用し、草丈に合わせて地上50cmと地上110cmで計測した。
- 計40か所に設置。
- 同期間の全天の積算日射量をもとに、相対積算日射量を算出した。
- 計測にはオプトリーフ（大成ファインケミカル（株））を使用。



図 オプトリーフ設置後

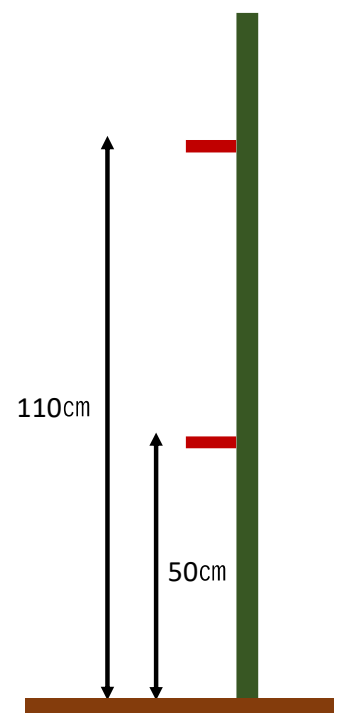


図 園芸支柱詳細図

12

方法 土壌水分率調査

- 1m²方形区内で5ヵ所計測し、その平均値をプロットの土壌水分率とした。
- 計52プロットで計測。
計測は植生調査、および日射量調査のプロット全てを対象とした。
- 計測には土壌水分計（クリマテック（株））を使用。



図 土壌水分計

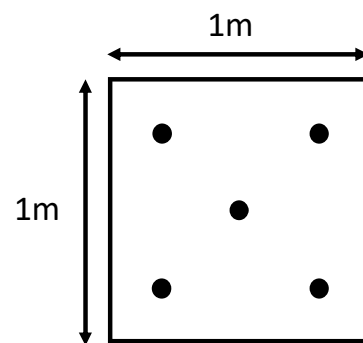


図 方形区内調査箇所 詳細

13

調査日

表 調査実施日

調査項目（全て2022年に実施）				
毎木調査	年輪調査	植生調査	日射量調査	土壌水分率調査
4/21	12/12	4/21-5/29	9/24-9/27	11/12
9/14		7/31-8/15		
10/26		10/1-10/8		
10/27				

結果・考察 毎木調査

本数：439本（スギ：411本）

1haあたりの本数：337本（スギ：316本）

胸高直径平均：58.9cm（スギ：59.1cm）（周囲長(cm)/ π ）

最大胸高直径：113.63cm

胸高直径100cm以上：8本



図 幹根本位置

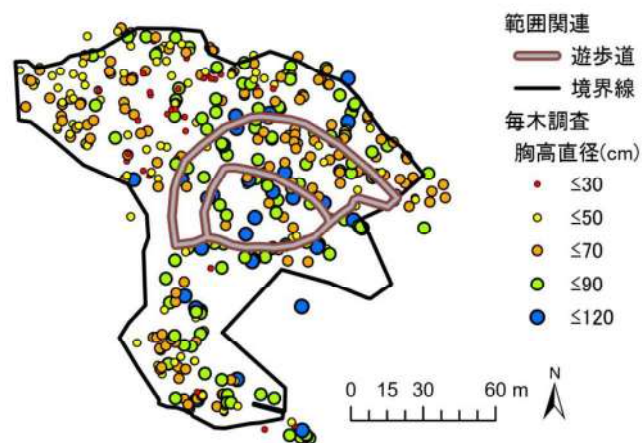


図 胸高直径別分布図

15

結果・考察 毎木調査

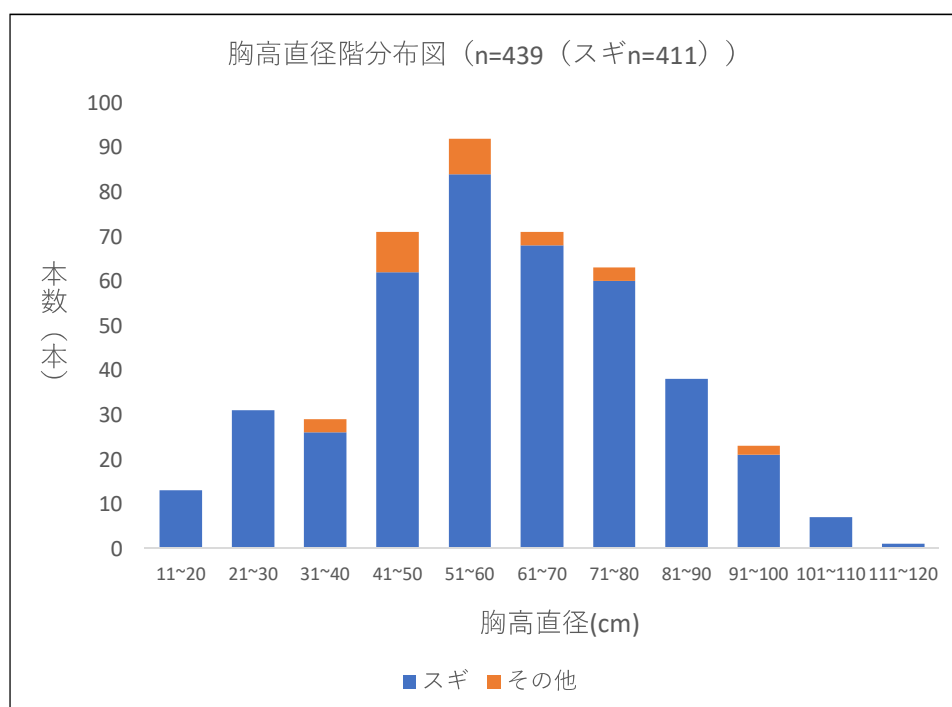


図 胸高直径階分布図



16

結果・考察 毎木調査

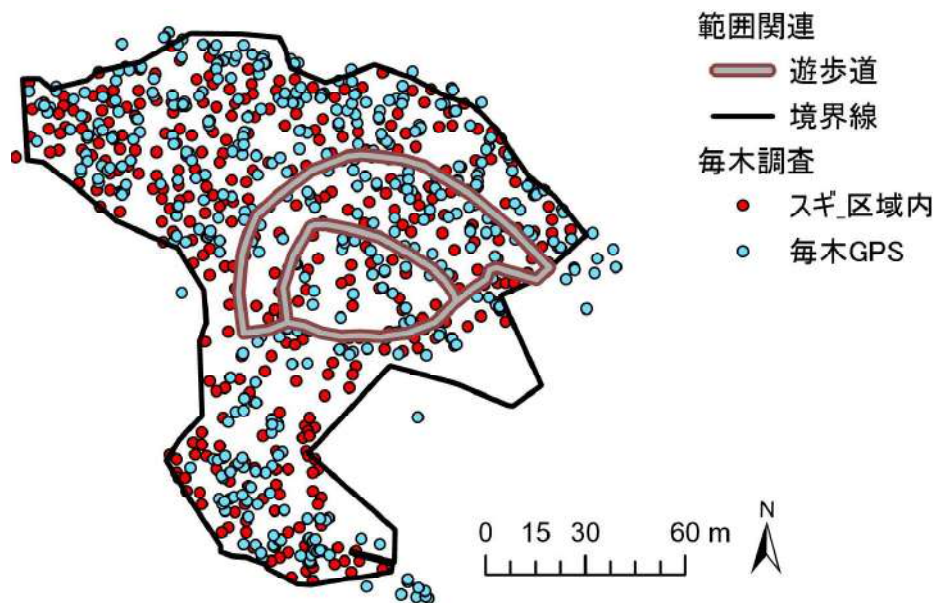


図 LiDARデータの樹頂点およびGPSデータ

2018年11月にアジア航測株式会社によって取得されたLiDARデータから抽出された樹頂点の位置と、現地でGPS GARMINmap60CXsを用いて記録した位置情報が大きく乖離しており、一致させることは困難

17

結果・考察 毎木調査

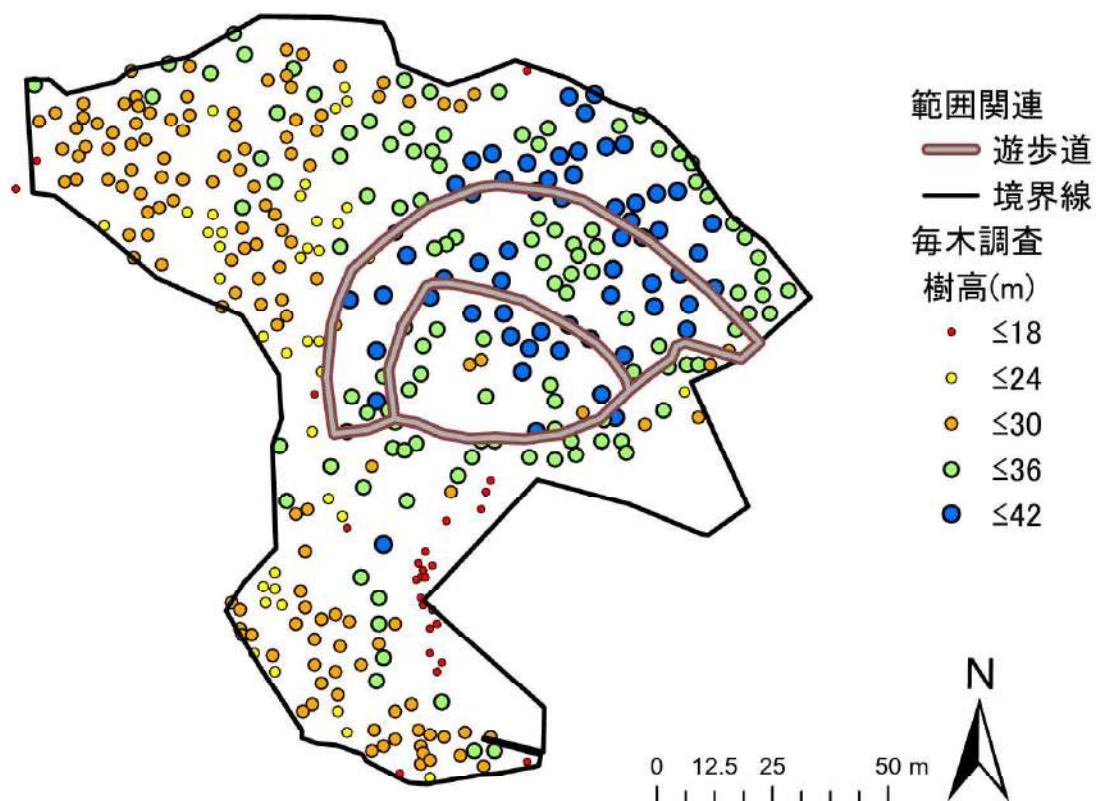


図 樹高分布図

18

結果・考察 毎木調査

表 スギ詳細データ

	LiDARデータによる 推定値	実測値
樹高平均(m)	29.1	
最高樹高(m)	41.7	
最低樹高(m)	3.6	
胸高直径平均(cm)	50.3	59.1
胸高断面積合計(m ² /ha)	62.5	97.2

LiDARデータによる推定値と実測値の間に、
 胸高直径平均：約9cm
 胸高断面積合計：約35m²/ha
 の差が生じた。
 →LiDARデータによる推定は過小評価になる

19

結果・考察 毎木調査



表 スギ高齢林の比較



名称	林齢	平均樹高(m)	平均胸高直径(cm)	胸高断面積合計(m ² /ha)	材積(m ³ /ha)	本数(本/ha)	測定年
木下家住宅スギ林 (実測値)	200		59.1	97.2		316	2022
木下家住宅スギ林 (LiDARデータより)	166	29.1	50.3	62.5	790.4	287	2018
桜ヶ尾スギ人工林 (千葉) ⁹⁾	165	29.9	62	68.14	971.7	216	2000
今澄スギ人工林 (千葉) ⁹⁾	141	30.8	61.6	65	921	210	2000
山塚国有林 (福岡) ¹⁰⁾	117	31.7	72.2	72.6	983.9	191	1956
スギ人工林 (奈良) ¹¹⁾	177	42	71.9	79.1	1419	189	2003
スギ人工林 (奈良) ¹¹⁾	232	49.9	106.5	77.6	1579	76	2003
三重大学付附属演習林 (三重) ¹²⁾	210	30.2	67.3	86.4	1158.5	90	2020

スギの胸高断面積合計の極大値：100m²/ha¹³⁾
 →木下家住宅スギ林は極大値に近い
 胸高断面積合計をもつ珍しい林分

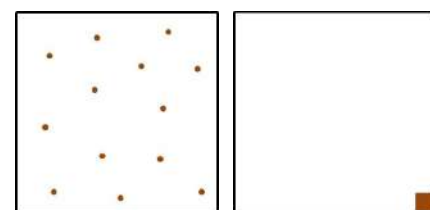


図 胸高断面積合計 1%

結果・考察 年輪調査

- 下図左の切り株：樹齢194年
 - 下図右の切り株：樹齢205年
- 平均樹齢約200年
- 日野上の林業より、推定の植栽時期は1828年～1858年⁶⁾である。

→200年生はほぼ正確な数値であると言える。



図 計測した切り株

21

結果・考察 植生調査

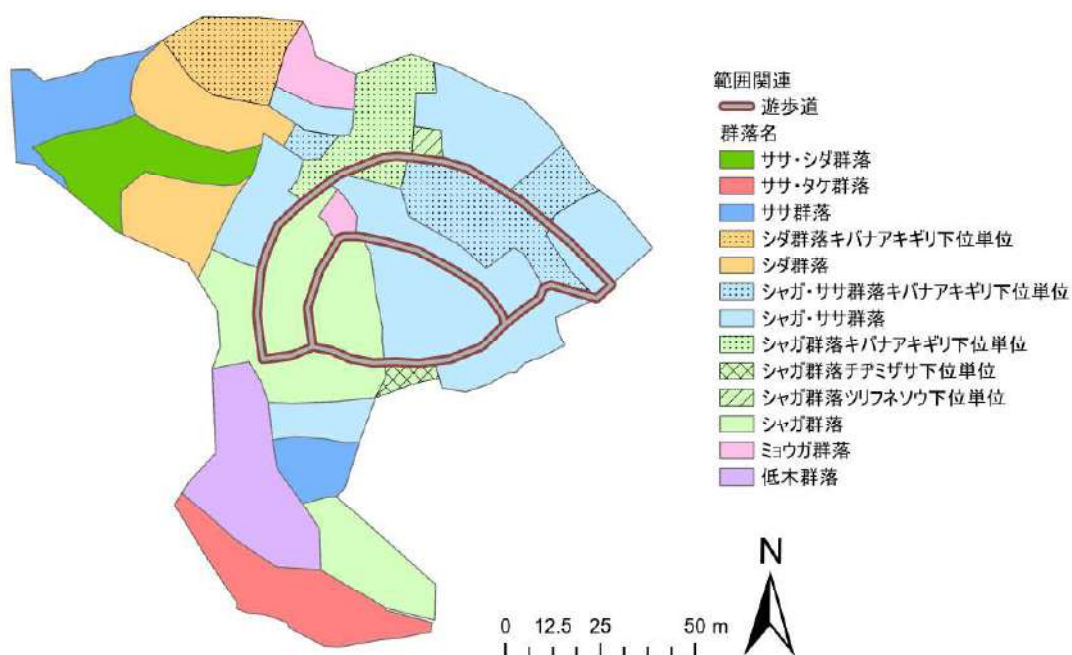


図 現存植生図（夏）



図 トキワイカリソウ
Epimedium sempervirens
2022年5月4日撮影

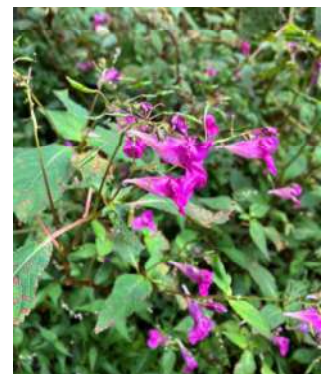


図 ツリフネソウ
Impatiens textori
2022年9月14日撮影

22

結果・考察 相対積算日射量

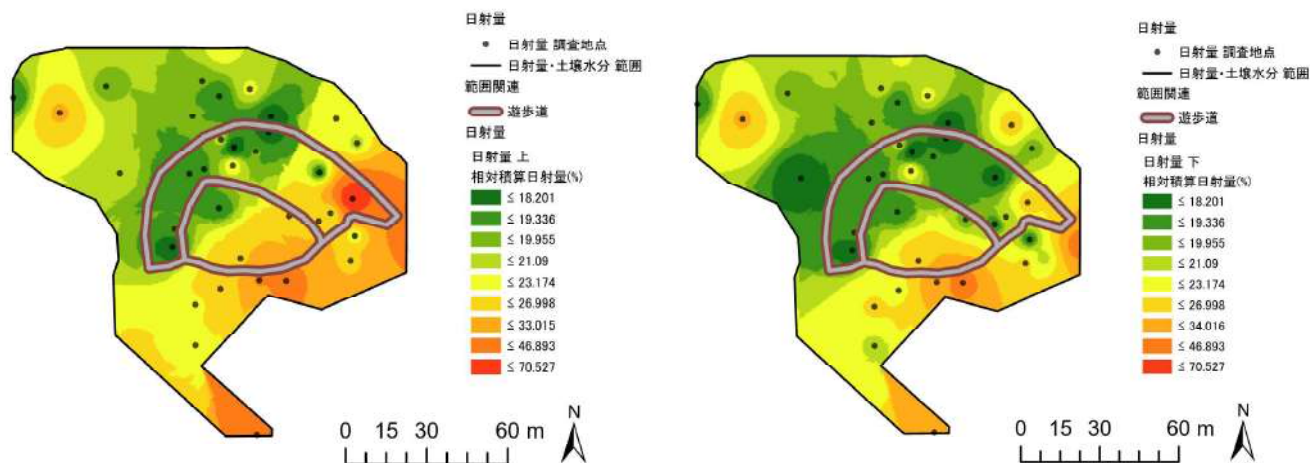


図 相対積算日射量図（左：地上110cm 右：地上50cm）

ArcGISProの解析ツール「IDW（逆距離加重法）」を用いて作成

南東側の林縁付近が比較的明るくなっている
全体としてはスギ樹冠に被陰されているため暗い

23

結果・考察 土壌水分率

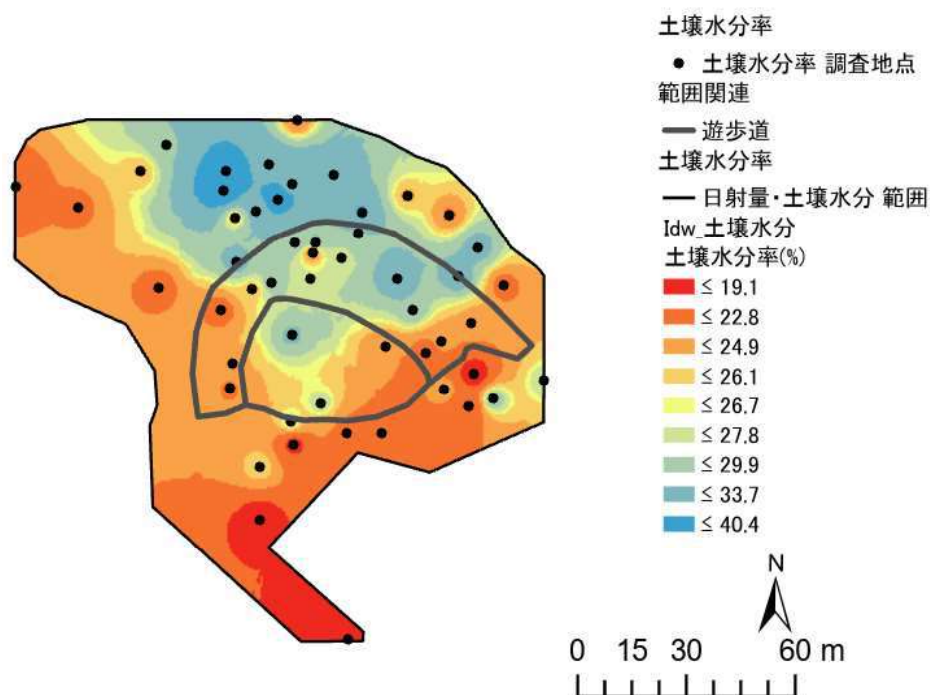


図 土壌水分率図

10日間のAPI（先行降雨指数）＝0であったため、降雨の影響をほとんど受けていない状態の土壌水分率と捉える。

24

結果・考察

表 群落別の日射量及び土壌水分率

群落名	日射量		平均土壌水分率 (%)
	上平均(%)	下平均(%)	
シャガ・ササ群落	24.6	21.7	25.5
シャガ・ササ群落キバナアキギリ下位単位	25.1	19.6	28.9
シャガ群落	22.3	20.9	22.7
シャガ群落ツリフネソウ下位単位	17.8	17.8	32.4
シャガ群落キバナアキギリ下位単位	19.6	19.6	31.0
シャガ群落チヂミザサ下位単位	30.4	29.7	22.3
ミヨウガ群落	19.5	19.8	31.6
シダ群落	20.9	20.0	26.0
シダ群落キバナアキギリ下位単位	20.1	20.0	30.2
ササ群落	21.7	21.2	20.8
ササ・シダ群落	22.8	22.4	24.2
低木群落	22.5	21.7	21.9

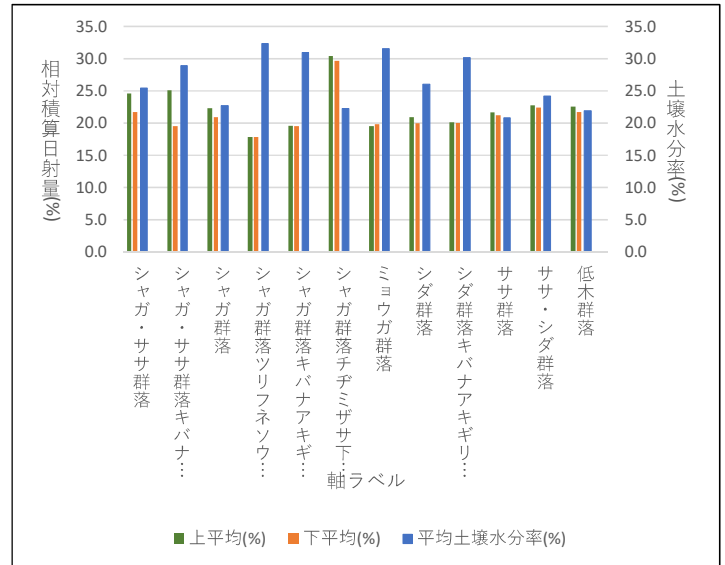


図 群落別の日射量及び土壌水分率

相対積算日射量の上下平均値と土壌水分率の相関係数は**-0.61** ($p=0.035<0.05$)
 →負の相関 = 日射量が増加すると、土壌水分率は減少する

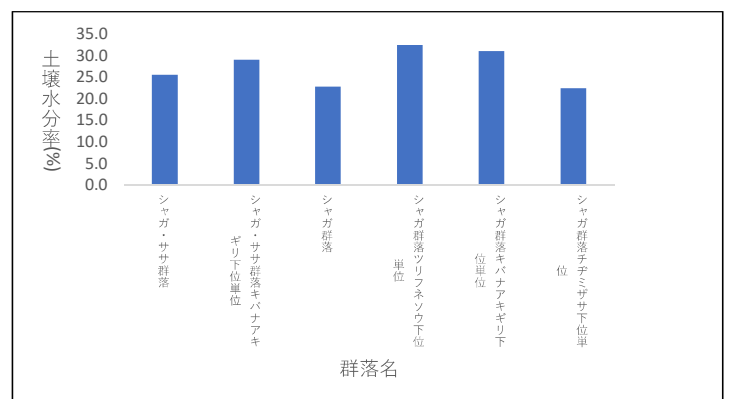
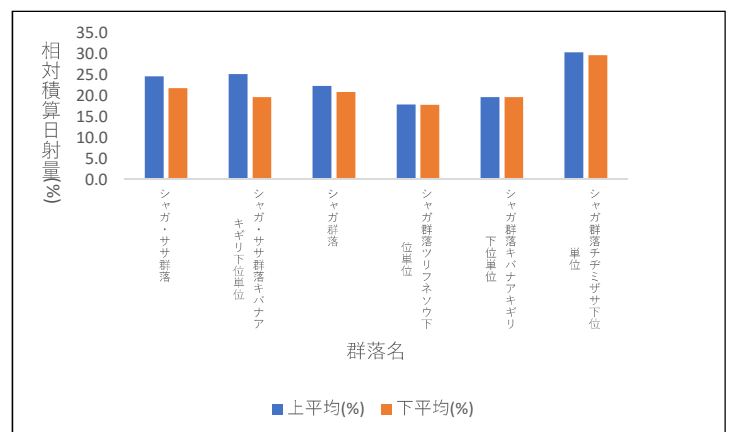
25

考察

シャガ・ササ群落とシャガ群落のみに着目すると、土壌水分率・日射量ともに大きな差は見られない。



選択的にササ刈りをする
 ことで、シャガやキバナアキギリなどが増加し、視覚的に豊かな林床植生になるのではないか



26

考察

- ・「熟視角¹⁴⁾ 15)」を利用
→熟視角1度で直径5cmの花（例：シャガ）を観察
することができる距離を3mとした。
- ・転倒、転落などが起こりやすい傾斜角：36度¹⁶⁾
安全かつ軽労に作業ができる傾斜角：24度¹⁷⁾



- ・遊歩道から3m範囲内のシャガ・ササ群落
- ・傾斜角24度以下の場所

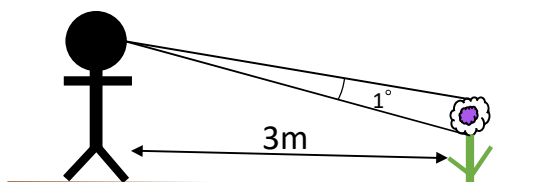


図 熟視角

27

考察

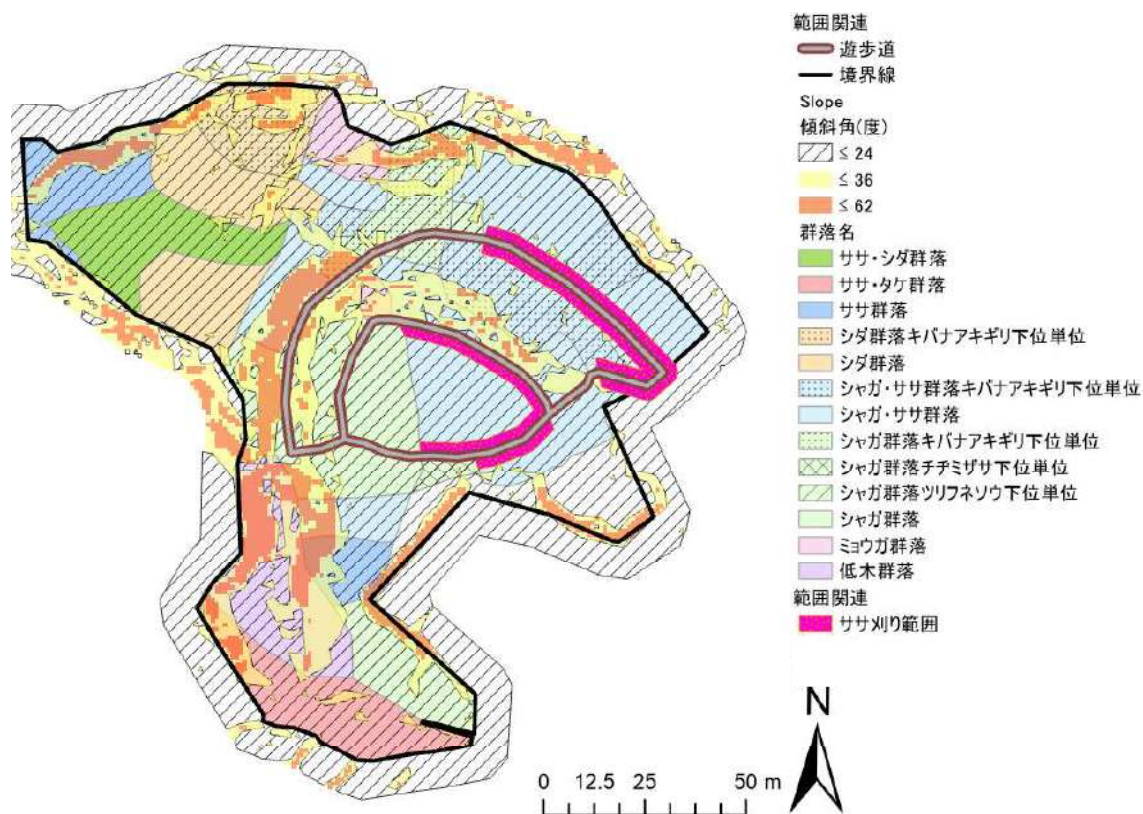


図 ササ刈り範囲図

28

まとめ

木下家住宅スギ林は極大値に近い
胸高断面積合計をもつ林分



200年生という数値はほぼ正しい

今後の木育ではデータを用いた
説明が可能



遊歩道から3m範囲内の
シャガ・ササ群落でササ刈り
→野草が豊かで魅力的な林床に

29

謝辞（順不同）

本研究を遂行するにあたり、以下の皆様方には多大なるご理解とご協力をいただきました。


深く御礼申し上げます。

- ・日南町森林組合 森林管理課 木下正啓 様
- ・にちなん中国山地林業アカデミー 高木康平 様
- ・にちなんエコツーリズム推進協議会 下本隆司 様
- ・日南町役場 企画課 牧恭平 様

文献

- 1) 北海道木育推進プロジェクト事務局（2005）木育プロジェクト報告書。
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/4/0/8/3/4/3/_/project_report.pdf（2023年1月23日閲覧）
- 2) 林野庁（2006）森林・林業基本計画。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/plan/attach/pdf/koremadenokihonkeikaku-21.pdf>（2023年1月23日閲覧）
- 3) 林業成長産業化地域構想（変更）（鳥取県日南町・中央中国山地地域）（2019）
- 4) 気象庁データベース 過去の気象データ
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/annually_a.php?prec_no=69&block_no=1304&year=2021&month=7&day=&view=（2023年1月20日閲覧）
- 5) 日南町史編集委員会（2020）続日南町史 地域編 日南町 290
- 6) 入澤 廉（1956）日野上の林業 7-8
- 7) 環境省 モニタリングサイト1000 データファイル「毎木調査」
https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file.html（2022年11月30日閲覧）
- 8) 福嶋司（2005）植生管理学 朝倉書店
- 9) 鈴木誠ほか（2003）スギ高齢林の成育に関する研究(I)清澄地域におけるスギ高齢人工林の成立過程.東大農演報109:27-45
- 10) 関屋雄偉（1958）大材生産林分の研究 第II報 小石原におけるスギ大材林分について.九大農演集報9:35-55
- 11) 竹内郁雄（2005）スギ高齢人工林における胸高直径成長と林分材積成長 日林誌87:394-401
- 12) 唐澤丈ほか（2021）210年生スギ人工林の成長解析 三重大学附属平倉演習林藤堂スギ林分の事例 中部森林学会事務局69:63-69
- 13) 四手井綱英（1974）自然保護・森林・森林生態 農林出版
- 14) 亀山章ほか（1998）エコパーク-生き物のいる公園づくり-ソフトサイエンス社 96
- 15) 樋口忠彦（1975）景観の構造 技報堂 22
- 16) 農林水産省，平成26年度食料・農業・農村の動向 第2章第1節 農業の構造改革の推進 92-116
- 17) 松井正実ほか（2016）安全な草刈り作業のための下腿筋活動量を考慮した法面傾斜角度に関する考察
堤利夫（1989）森林生態学 朝倉書店
門田裕一 林弥栄（2013）増補改訂新版 野に咲く花 山に咲く花 山と溪谷社

31



ご清聴ありがとうございました

32

令和4年度鳥取大学・日南町連携事業実績報告

鳥取大学－日南町連携事業ワーキンググループ会議・連携事業報告会

連携事業報告会 令和5年3月9日（日南町役場 交流ホール）

【教育・文化】

●（実施）「にちなんふる里まつり」と連携した出前科学実験教室（継続）：

地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）

（技術部 統括技術長 三谷秀明 ／ 日南町教育委員会）

【事業計画】

毎年10月に町の文化祭として開催されている「にちなんふる里まつり」において、鳥取大学医学部及び研究推進機構研究基盤センター、農学部（学生含む）、技術部の教職員が日南町教育委員会と連携して科学実験教室を開催している。日南町の多くの子ども達が科学実験やものづくりを楽しむ中で、科学への興味関心を引き起こす機会になることを目指している。

本年度は、10月30日（日）10：00から15：00の間、日南町役場庁舎交流ホールを会場に、「2022 にちなんふる里まつり」にて開講した。

実験コーナーは下記の9つ

1. 「ペルチェ素子」のはたらきを体験しよう！
2. 見えないエネルギーを体験してみよう、測ってみよう。
3. 霧箱(きりばこ)ってなに？
4. 細胞の中のはたらきもの！「酵素」（こうそ）について知ろう！
5. ぷよぷよモチモチ！手でつまめる水玉を作ろう
6. お手軽・簡単!!ブラックライト作り
7. 磁石を飲み込む？真っ黒なスライム砂鉄スライムをつくろう！
8. ミクロの世界をみてみよう！
9. 単極モーターを作ってみよう！（展示のみ）



受付来場者は98名、アンケートへの回答は57名だった。

回収したアンケートの『来年もあってほしいかどうか』の項目には、回答者全員があってほしいに回答いただいた。

「来年もまた来たい」、「この企画（出前科学実験教室）が好き」、「子供が楽しみにしているのでまた来る」、「子供と楽しく遊べてよかった」、「来年もまた来る」などの意見があり、楽しんでもいただけたと同時に、ふる里まつりに出展する出前科学実験教室が定着し、日南町のこどもが科学への興味・関心を持つきっかけとなっている。

今後も身近な物を通して科学への興味・関心を持ってもらう一助となるための更なる発展を目指す。

●（中止）国際理解講座「外国の文化に触れよう」（継続）：

地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）

（国際交流センター准教授御館久里恵 ／ 日南町図書館）

【事業報告】

世界各国からきている鳥取大学の留学生と交流することにより、他国への関心を高め、海外を身近に感じることができる機会とする。民族、文化などを紹介した図書を通じてその国の文化に触れ、理解を深める。

国の紹介、国に伝わる民話絵本の読み聞かせ（現地の言葉と日本語）のほか、国を紹介するクイズや特徴的な遊びなどの参加者体験型のコンテンツも取り入れ、楽しみながら異国の文化を知る。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした

●（実施）とっとり暮らし早期体験学習（継続）：地域創生推進プログラム

（地域価値創造研究教育機構 教授 清水克彦 ／ 企画課）

【事業報告】

鳥取大学と連携協定を締結している日南町、大山町、琴浦町、南部町、智頭町、八頭町の6町をフィールドとして、実際に現地に赴き視察を実施し、大学入学後早い時期に地域の実情に接することにより、各町の特色ある自然や産業についての教養を身につけるとともに、地域を学ぶ動機付けを行うことを目標とした講義である。

日南町では、にちなん中国山地林業アカデミーでの体験学習を行った。

6月23日、鳥取大学で『日南町の概要』について講義を行い、同月26日に、にちなん中国山地林業アカデミーを訪れ、午前中は林業の現状やアカデミーの取組みを学び、午後はヒノキの間伐体験を行い、林業の面白さや難しさの一端を体験した。



【産業・環境】

●（実施）200 年の森調査（新規）

（鳥取大学農学部 教授 日置佳之・関戸志緒里 ／ 日南町企画課）

【事業報告】

「子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』」と定義された「木育」は全国で広がっており、林業のまちと呼ばれる日南町でも木育を推進する施策として 2017～2021 年度に阿毘縁旧木下家住宅裏に「200 年の森等木育整備事業」が実施された。

全国的にも、個人が所有する土地に樹齢 200 年のスギの木が叢生していることは珍しいが、一度も樹木の調査を実施したことがなく、適切な情報を把握出来ていない。

本事業では、200 年の森を木育に役立てるための基礎資料を作成することを目的に、スギ林の調査を行った。

毎木調査：4/21、9/14、10/26、10/27

年輪調査：12/12

植生調査：4/21-5/29、7/31-8/15、10/1-10/8

日射量調査：9/24-9/27

土壌水分率調査：11/12

【まとめ】

- ・スギ林は極大値に近く、胸高断面積合計をもつ林分。
- ・200 年の森として名を付けたとおり、200 年生という数値はほとんど正しいものだった。
- ・今後の木育ではデータを用いた説明が可能となった。
- ・遊歩道から 3m 範囲内のシャガ・ササ群落でササ刈りをすることで、野草が豊かで魅力的な林床植生になる可能性がある。

【参考：200 年の森概要】

平成 29 年 7 月に寄付採納となった阿毘縁地内の旧家木下家とその裏山にある同家所有の樹齢 200 年のスギ林を「木育」のフィールドとしてだけでなく、阿毘縁地域の活性化も視野に入れ、観光協会ともタイアップしながら、その有効利用を図っていくため、平成 30 年に整備された遊歩道。

幼児から小学生生年向けのプログラムとして「大径木に触れる森遊び」など森林のなかで遊ぶことが考えられる。とりわけ、幼児から小学生向けのプログラムを充実させ、林業の町にふさわしい「森林教育」を行うことで、ふるさと教育の充実、さらには将来における林業業界の担い手の確保を目指す。

●遊歩道延長：349.2m

●面 積：16,426m²

●木 の 高 さ：30～40m

●木 の 直 径：80～100cm



【防災】

●（実施）「広報にちなん」の折込チラシを活用した食防災に関する啓発の実践（新規）

（鳥取大学医学部保健学科 講師 上田悦子 ／ 鳥取県栄養士会 ／ 日南町総務課）

【事業報告】

毎月発行の「広報にちなん」に合わせ、食防災情報（一般的な防災情報も含む）を町から住民に向けて定期的に提供し続けることで、住民の意識や行動の変化を知り、また施策へフィードバックすることを目的とした。

実践の評価方法として、本事業の前後に住民アンケートを実施し、本啓発活動による住民の意識、行動の変化を分析することとした。

事前アンケートを令和4年4月に行い、94件の回答が得られた。回答者の6割が「家庭の備蓄に問題がある」と感じていた。

この結果も参考にして毎月テーマを設定し、そのテーマに沿った内容でA4版カラー両面印刷1枚のチラシを作製して、全11回の情報提供を行った（下記参照）。現在、住民への事後アンケート（目標100名）を開始したところである。

回収目標数を達成次第、簡易集計して概略をまとめ、関係機関で情報共有する（令和5年5月頃）。また引き続き詳細な分析をすすめ、フィードバックして新たな施策へ活かしていく。

<啓発内容>

被災体験から学ぼう（4月）、我が家の避難スイッチは？（5月）、災害発生時の行動と必要品（6月）、避難生活と必要な備蓄（7月）、鳥取県民の意識と自治体の備蓄状況（8月）、わが家の備蓄は何日分？（9月）、持続可能な備蓄を！ ローリングストックのススメ（10月）、今すぐできる減災（11月）、天気予報の見方を知っておこう（12月）、トイレの備蓄が命を守る（1月）、情報は命綱（2月）、備えない防災「フェーズフリー」（3月）、計11回の掲載

【参考】

次のページ以降、11回分のチラシを添付

鳥取県は過去何度も突然の大災害に見舞われ、甚大な被害を受けました。これらの経験を活かしていくことが大切です。次に起こる災害に備えるため、日南町と鳥取大学、鳥取県栄養士会が連携して、防災に役立つ情報を毎月お届けしていきます。



鳥取県西部地震（平成12年10月）

震度6
(M7.3)

その日は車を公民館に移動させて（中略）車で寝ました。晩ご飯は、ジャーにご飯があったので、釜ごと持って出て、あとはふりかけなんかを持って、皆で食べました。



コンビニの商品もすごい勢いでなくなっていたみたいで、あるだけ買ってきて、みんなでそれを食べ（中略）ました。

晩ご飯をどうするかと考えた時に、水が無かったのでご飯も作れなくて、カップ麺を食べようって。でもお湯がポットにちょっとしかなかったの、どうしようって言ったのを覚えています。



地震直後、ガスを使うのが怖くて、何日か（中略）カセットコンロを使って外で煮炊きをしました。

水が止まってしまって、親戚の家から汲んできて使っていたので、水のありがたさを感じました。



水道が復旧するまではトイレができなかったし、机の上に埃が溜まっていた、雑巾すら洗えない状況でした。たまたま隣のお宅が地下水の水道が出ていたので、そこで洗わせてもらっていました。



出典：「被災ママと関係者に聞く！子連れ防災～鳥取県西部地震体験インタビュー」（鳥取県西部地震展示交流センター／日野ボランティア・ネットワーク）をもとに鳥取大学上田研究室作成 イラスト：いちひろゆきさん(@bot39507348)

東日本大震災の事例

●スーパーで食料調達できたのは、発災後**数日**経ってから。

- 食料の家庭備蓄を行っていた家庭は少なく、発災日の夜は**自宅にあった食料**や近所の炊き出しで食事。
- 避難所に地方公共団体の**食料備蓄があったのは全体の3割程度**。
- 発災日に避難所に届いた食料のほとんどは他地区**住民の協力による炊き出し**のおにぎり。
- 自宅から避難所に食料を持参した人は**2割程度**。

出典：「東日本大震災における食料へのアクセス実態調査（平成25年3月）」（農林水産省）

熊本地震の事例

- 多くのスーパーが営業中止。
- 9日**経っても約**2割**のスーパーが営業を再開できなかった。

こげにかかるだ?!

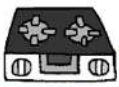
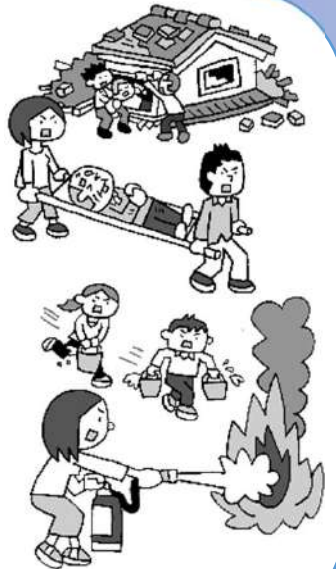


出典：「講演用資料 災害時に備えて食品の家庭備蓄を始めよう」（農林水産省）
(<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/kouenyou.html>) (2022/3/7) を加工して作成

震度6弱 (M6.6)

鳥取県中部地震

わが町は、平成12年2月に自主防災会を立ち上げました。
 その5年前に発生した阪神・淡路大震災のテレビ映像を見て大きな
 衝撃を受けました。それは、同時多発災害です。火災が多発し、多く
 の死傷者が発生し、町が壊滅状態です。被災した住民は行政に
 不満を訴え、行政も被災し、それらに対応しきれなく・・・、全国から
 届いた救援物資はすべての避難所に届くことなく山積の状態。(中略)
 「その日」のために被災者自らが行動して、消火活動、救助活動、
 被災者の救援、避難所の運営などを自ら行うために、自主防災会を
 結成し、防災訓練や、防災資機材の整備、備蓄食料の確保を行い、
 町内で発生した火災では、初期消火や炊き出しを行い、洪水警報
 などが発令されたときは河川や町内の見回りを行ってきました。
 そして、自主防災会結成16年目に「その日」がきたのです。



ライフライン復旧までの日数

出典:「平成28年10月21日鳥取県中部地震記録誌」(鳥取県)
<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1167305/chubujiisinkirokushi.pdf> (2022/3/7)

	電気	ガス (LP・都市)	水道
鳥取県中部地震 (平成28年10月)	3時間半	3日	3日
東日本大震災 (平成23年3月)	3日後に80% 復旧完了に 約3か月	約2か月	1週間で約57% 復旧完了に 約6か月半
西日本豪雨 (平成30年7月)	約7日後	約1日	断水解消に 約1か月 飲用水としての復 旧完了に約2か月

鳥取県中部地震で 提供された物資

発災 当日	アルファ化米 飲料水、パン おにぎり等
翌日 以降	弁当等
10日 目～	スープ、 カップみそ汁

出典:「講演用資料 災害時に備えて食品の家庭備蓄を始めよう」(農林水産省) maff.go.jp (2022/3/7)
 「平成28年(2016年)鳥取県中部を震源とする地震に係る被害状況等について(12月21日)」(内閣府)
<http://www.bousai.go.jp/updates/h281021jiishin/index.html> (2022/3/7) をもとに鳥取大学上田研究室作成

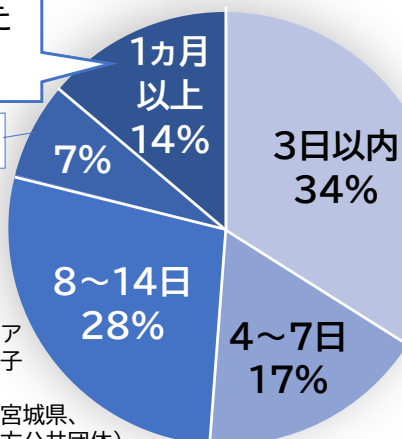
東日本 大震災 では

仮設トイレが避難所に 行き渡るまでに要した日数



最も日数を要した
自治体は**65日**

15～30日



3日以内と
回答した自治体は
わずか**34%**

<アンケート調査>
 実施:名古屋大学エコトピア
 科学研究所 岡山朋子
 協力:日本トイレ研究所
 回答:29自治体(岩手県、宮城県、
 福島県の特定被災地方公共団体)

出典:「避難所におけるトイレの確保
 ・管理ガイドライン(平成28年4月)」
 (内閣府防災担当)をもとに作成

3日も水道が使えなんたら、
 うちはどげすーだ...



わしゃ、いざとなりゃ
 畑ですーだわ。だも、
 ぼあさんは外ででき
 ーか?
 夜中や大雪の時は...?

では実際に、
 どのような備えが
 必要なので
 しょうか。
 次回から
 具体的にお伝え
 していきます。



ご意見・ご感想
 はこちらまで



国が大きく方針転換～災害で犠牲者を出さないために～

「行政主導の防災対策強化」➡「**住民主体**の取組強化」

住民 「自らの命は自らが守る」意識
自らの判断で避難行動をとる

行政 全力で住民や地域を支援

自助

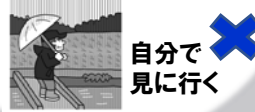
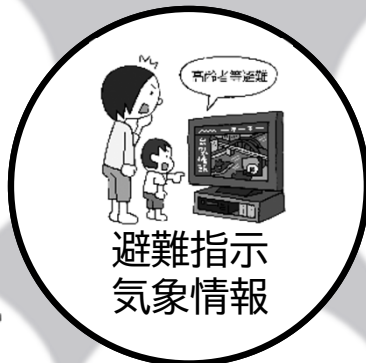
共助

公助

●あなたの家は洪水や土砂災害等の危険性は全くないですか？危険が迫ってきたとき、どのような情報を利用し、どこへ、どうやって逃げますか？

いつ？「**避難スイッチ**」：避難を実際に行動に移すためのきっかけ

例えば・・・



「逃げなきゃコール」

アプリ入手
地域登録

登録地域の
防災情報が届く

大切な人に
電話で連絡

いざ避難！



詳細はこちら
今すぐ登録を！



災害ごとのわが家の災害リスクと、
とるべき行動を確認しましょう。



平成30年7月豪雨時 岡山県真備町で
ハザードマップの存在を知っていた人・・・75%
内容を理解していた人・・・24%

STEP1 ハザードマップで自宅をチェック

各戸配布済みのハザードマップ、町HPで確認

- ☐ 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)
- ☐ // 特別警戒区域 (レッドゾーン)
- ☐ 洪水浸水想定区域 (深さ m)
- ☐ いずれにも入っていない
- ☐ わからない ➡ 役場に聞く ☎ 82-1111 (担当：総務課 渡邊)

日南町防災HP



鳥取県防災アプリ
あんしんとりぴーナビ



iPhone用



Android用

国土交通省HP
かさねるハザードマップ

災害時に
リアルタイムで
危険度が
わかる



避難したけれど大きな災害
にはならなかった場合・・・

空振り 「無駄足だった」

ではなく

素振り 「いい練習になった！」

避難しなかったら・・・

見逃し

99回素振りしても、
1回見逃せば取り
返しがつきません。

STEP2 家庭の状況をチェック



要配慮者 ☐あり→ **警戒レベル3** で避難
☐なし→ **警戒レベル4** で避難

ペット ☐いる
☐いない

環境省_災害、あなたとペットは大丈夫？人とペットの災害対策ガイドライン<一般飼い主編> (env.go.jp)



STEP3 備蓄の状況をチェック

飲料水 ☐あり (日分)
☐なし

食糧 ☐あり (日分)
☐なし

携帯トイレ ☐あり (日分)
☐なし

STEP4 災害ごとにわが家の避難行動をシミュレーション

警戒レベル1

早期注意情報

気象状況悪化のおそれ

心構えを
高める

警戒レベル2

大雨・洪水注意報

気象状況悪化

避難行動
確認

はじめよう！

みんなの避難スイッチ
(鳥取県危機管理局)



なんと、ワシは
ハザードマップで色がついたらわ。
「警戒レベル3」で、
避難スイッチONじゃ！

色のついたらん
地域の娘の家に
行くことにしょ。

警戒レベル3

高齢者等避難

災害のおそれあり

必ず
避難

警戒レベル4

避難指示

災害のおそれ高い

警戒レベル5

緊急安全確保

既に災害発生/切迫

命の
危険

直ちに安全確保！

土砂災害

洪水/内水氾濫

ハザードマップで色が塗られている

※色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市町村の避難情報を参考に必要に応じて避難して下さい。

いいえ

はい

はい

例外

原則として

いいえ

※土砂災害は突発的に発生します。発生してから避難するのは困難です。

☐洪水で家屋が倒壊・崩落する
 おそれの高い区域の外側である
☐浸水する深さよりも高い所にいる
☐水・食料などの備えが十分にある
☐浸水しても水がひくまで我慢できる
☐何も不安はない

すべて☑

屋内安全確保も可能ですが、日南町
の特性から、避難をお勧めします。

立ち退き避難(水平避難)

明るいうち
動けるうちに

最善

市町村の
指定避難所
(自主避難所)



次善

安全が確保できる
親せきや知人宅、
ホテル・旅館等



屋内安全確保(垂直避難)

三善

水・食糧・携帯電話・非常用トイレ等を持って、
上階や崖から離れた部屋等、より安全な場所へ



STEP5 家族と避難方針を共有

いつ どこに



土砂災害

警戒レベル()で

☐屋内安全確保 ☐立ち退き避難
☐避難所
☐親戚・知人宅
☐ホテル・旅館



洪水/内水氾濫

警戒レベル()で

☐屋内安全確保 ☐立ち退き避難
☐避難所
☐親戚・知人宅
☐ホテル・旅館



安否確認










(例)自宅/父
 ()
 の番号
 { ①伝言
 ②再生

171

ご意見・
ご感想は
こちらへ



雨の強さと降り方

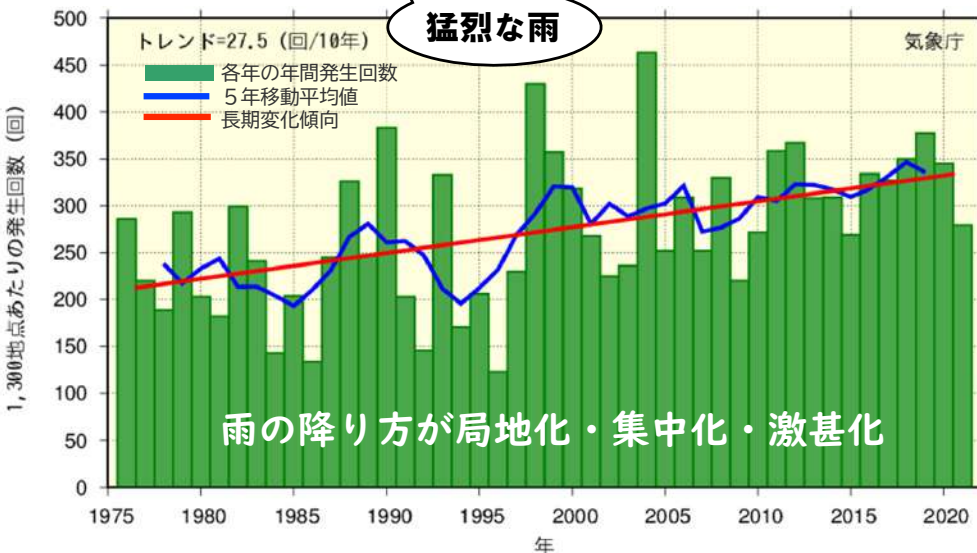
予報用語	1時間雨量 (mm)	人の受けるイメージ	車に乗っていて	屋内・屋外の様子
やや強い雨	10～20	 ザーザーと降る		 雨の音で話し声がよく聞き取れない
強い雨	20～30	 どしゃ降り	 ワイパーを速くしても見づらい	 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく
激しい雨	30～40	 バケツをひっくり返したように降る	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	 
非常に激しい雨	50～80	 滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	車の運転は危険 <ul style="list-style-type: none"> ●水深が車両の床面を超えると、エンジン、電気装置等に不具合が発生するおそれがあります。 ●水深がドアの高さの半分を超えると、ドアを内側からほぼ開けられなくなります。 	 水位上昇前に避難を！
猛烈な雨	80～	 息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる		

風の強さと吹き方

予報用語	平均風速 (m/s)	人への影響	走行中の車	屋外・建造物の様子
やや強い風	10～15	 風に向かって歩きにくくなる傘がさせない	高速運転中では横風に流される感覚を受ける	樹木全体・電線・樋が揺れ始める
強い風	15～20	 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る 高所での作業は極めて危険	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	屋根瓦がはがれるものがある シャッターが揺れる
非常に強い風	20～25	 何かにつかまっていないと立っていられない 飛来物によって負傷するおそれがある	通常ので速度で運転するのが困難になる	看板が落下・飛散する ビニールハウスのフィルムが広範囲に破れる
	25～30			
猛烈な風	30～35	屋外での行動は極めて危険  	走行中のトラックが横転する 	養生の不十分な仮設足場が崩落する
	35～40			多くの樹木が倒れる ブロック塀で倒壊するものがある
	40～			住家で倒壊するものがある

最近の雨の降り方

全国の1時間降水量80mm以上の年間発生回数の経年変化(1976~2021年)



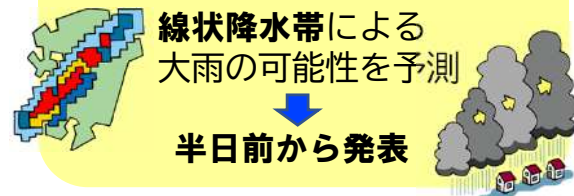
10年間の平均年間発生回数

1976~1985年 約14回
2012~2021年 約24回

約1.7倍

✕「今まで大丈夫だったから大丈夫」

気象庁 令和4年6月1日~
「線状降水帯」予測開始



防災気象情報の入手方法

信頼できる情報源を確認し、使い方に慣れておきましょう。

中海テレビ
生活情報チャンネル
(123ch)

地震、気象警報、河川水位情報、早期注意情報、
ライブカメラ映像等、リアルタイムな地域情報を見ることができます。

日南町の水位もわかるで！

平常時

緊急時



NHK
テレビ画面
「dボタン」

お住まいの地域の災害情報や
より詳しい気象情報を見ることができます。

NHK総合テレビをつける

リモコンの『d』ボタンを押す

リモコンの矢印ボタンで
『防災・生活情報』を選択

決定

知りたい情報や地域を選択



気象庁ホームページ
「キキクル」

今いる場所の災害の危険度を
一目で確認できます。

令和4年6月30日~
伝え方を改善

これまで

統合

紫(危険)
警戒レベル4 相当

新設

黒(災害切迫)
警戒レベル5 相当



キキクル

検索

文字情報は
耳が遠いワシでも
ようわかるわ！

dボタンも
ポチっとする
だけで
簡単じゃ！

ご意見・
ご感想は
こちらへ



シリーズ オッサンショウオと学ぶ食防災 第4回 今すぐできる減災...の巻



大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力では食い止めることはできませんが、日ごろのちょっとした工夫・備えて、**災害による被害は減らすことが可能です。**今回は、すぐにでも取りかかれそうな減災のヒントをご紹介します。

全ての
災害に
役立つ

ふだんからできることを習慣に



ガソリンは半分切ったら満タンに



浴槽に水を貯めておく



冷凍庫に保冷剤を入れておく



モバイルバッテリー・緊急連絡先メモをいつも携帯する

ふだんからできることをしておく



ガラスの飛散防止フィルムを貼る



家具の転倒防止



階段に蓄光テープを貼る
足下灯を取り付ける



感震ブレーカーの設置

感震センサー

そなえる



ローリングストック

食べる



飲料水・保存用食品を備える

防災アプリを入れる



非常持出袋の点検

保険の補償内容の確認



耐震リフォーム



よく通る場所の危険を想定する



ご近所づきあい

ふだんから練習しておく



災害伝言ダイヤルを使ってみる

【体験利用日】
毎月1日・15日



母携帯は
090-....

子どもに電話番号を覚えてもらう



災害のニュースを見たら
わが家ならどうするか話し合う



パッククッキング・備蓄品を使った調理

台風前の準備



物干し竿を
下ろしておく



屋外の飛ばされそうな
ものを片付けておく



排水溝、排水枡
の掃除



雨戸・カーテン
を閉める



自転車を飛ばされ
ないように固定



窓ガラスの
飛散防止



家財を2階以上に
運んでおく



乾電池の
チェック



土のうで
浸水対策

水のうの作り方・使い方

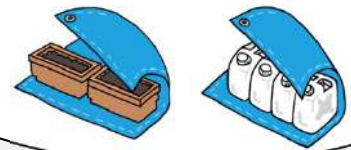


45リットル(2枚重ねだとより良い)の
ゴミ袋に水を入れ、袋の口をしっかりと
結べば「水のう」のできあがり



水のうを便器の中や
風呂の排水口などに
おいておくと、
下水の逆流を
防ぐ効果が
あります

ポリタンクやプランターと
ブルーシートでも代用品が作れます



停電対策グッズ

電力不足による大規模停電にも備えましょう

必需品



モバイルバッテリー
(充電式/乾電池式)



非常用トイレ袋



懐中電灯・ランタン・ヘッドランプなど
(手探りで探せるようにいつも決まった場所に)

両手が使えて
便利!

情報源



ポータブルラジオ
(またはラジオアプリ)

調理に



カセットコンロ



寒さ対策



石油(カセットボンベ式)
ストーブ



保温アルミ
シート



使い捨て
カイロ

買い物・ 電話代に



現金

車に
積んでおく

長時間続くときに あると心強い



シガーソケット
AC電源アダプター



ソーラー
パネル



ポータブル
バッテリー



発電機
(ガスボンベ式/ガソリン式)

こんど、100均や
ホームセンターで
見てみるかな

換気に
注意



ご意見・
ご感想は
こちらへ



巨大地震発生シミュレーション ～「その日」は突然に～

台風・豪雨などと違い、予測できないのが地震です。今、巨大地震が起きたと想定して、必要なものがあるかチェックしてみましょう。

日南町の被害想定

最大震度 6弱（鳥取県西部地震断層）
5強（南海トラフ）
建物大破 10件、中破 80件
負傷者 10人

経過時間	想定される状況	行 動	必要な物
地震発生	数分間揺れが続く	<ul style="list-style-type: none"> ■落ち着いて身の安全を守る（震度5相当以上の場合、マイコンメーターが自動的にガスを遮断） 	<p>よし、いま家にあるものはチェックじゃ！</p> <input checked="" type="checkbox"/>
5分	家具倒壊 食器等が散乱 停電 地割れ ブロック塀倒壊	<ul style="list-style-type: none"> ■ドアを開け逃げ道を確保 ■火元を確認。初期消火（ガスの元栓を閉める・コンセントを抜く・電気のブレーカーを切る） ■家にいる家族の安全確認 	<input type="checkbox"/> スリッパ/靴(寝室に) <input type="checkbox"/> 消火剤/消火器 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> ヘルメット
10分	余震 電話が繋がらない	<ul style="list-style-type: none"> ■隣近所の安全確認 消火・救出活動 ■情報確認（防災無線・ラジオ等） ■外出中の家族の安否確認（「災害用伝言ダイヤル」利用） 	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 緊急連絡先メモ <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器 /モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 小銭
数十分	ライフラインが止まる 水が濁る 冷蔵庫が使えない 避難所開設	<ul style="list-style-type: none"> ■水が出るうちに貯める ■冷凍庫の保冷剤を冷蔵庫上段に移す。（開閉時間を短くして温度上昇を抑える） ■家屋損壊の程度により余震に備えて立ち退き避難（玄関に行先のメモを残す） <p>文化センターの避難所におる 090-xxxx-xxxx</p>	<input type="checkbox"/> ポリタンク <input type="checkbox"/> 保冷剤(凍らせたペットボトルも可) <input type="checkbox"/> 非常持出袋 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> 油性ペン
【避難先】 <input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 親戚・知人宅 <input type="checkbox"/> ホテル・旅館 <input type="checkbox"/> 車中泊			
数時間	のどが渇く お腹が空く トイレにいきたい 家のことが心配 寒い/暑い	<ul style="list-style-type: none"> ■水分補給 ■非常食(火も水も使わずに食べられる物、食べ慣れた物)を食べる ■トイレ、洗面台とも排水の逆流の可能性あり。排水管の無事が確認できるまではトイレ使用不可。非常用簡易トイレ利用。 ■被災状況を写真に撮る ■雨対策 <p>必要に応じて県が行う応急危険度判定により、赤、黄、緑の3パターンに区分されます。緑であれば居住可能ですが、黄、赤になると立ち入りに注意が必要です。</p>	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input checked="" type="checkbox"/> 設置まで数日 <input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 防寒アルミシート <input type="checkbox"/> 石油ストーブ・灯油 <input type="checkbox"/> うちわ/充電式扇風機
夜	暗い・不安	<ul style="list-style-type: none"> ■誰かと一緒に過ごす ※居住可能と判定されれば自宅へ 	<input type="checkbox"/> ヘッドランプ <input type="checkbox"/> ランタン



非常時の備えは3ステップで考えましょう。

【このチェックリストは、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター
(<https://www.dri.ne.jp/>)の「減災チェックリスト」を元に作成しました】

0 次の備え いつもケータイ！

- 携帯できる「非常持出品」は、いつも使うバッグやポケットに！
- 安心感を持ち歩こう。



1 次の備え 非常持ち出し品

- 被災当日、これだけは持っていたい最低限の備え。
- 頭・足元を守って逃げられる装備。
- 玄関・寝室・車のトランクなど持ち出しやすい所に。



2 次の備え 安心ストック

- ライフラインが途絶え、支援が無くても自給自足できるもの。
- 少なくとも3日間分、できれば7日間分
- 取出し・持ち運びしやすくケースにまとめ、キッチンやガレージなどに。



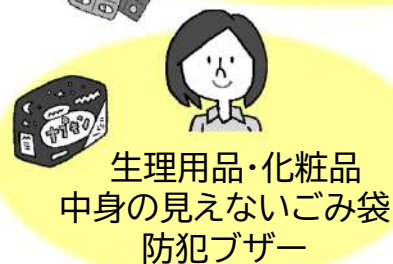
まずは1次の備えから…

発災当日をしのぐ数量を

例



家庭の事情に合わせて カスタマイズ…



ご意見・ご感想は
こちらへ





実際に家庭での備蓄をしている人の割合はどれくらいでしょうか。
全国と比べて、鳥取県の家庭備蓄はどの程度進んでいるのでしょうか。

全国

『大地震に備えて食料や飲料水を準備している』という人の割合



45.7%

大都市：50.7% 中都市：46.5% 小都市：42.1%

(調査対象:3,000人) 内閣府「防災に関する世論調査」(平成29年11月)

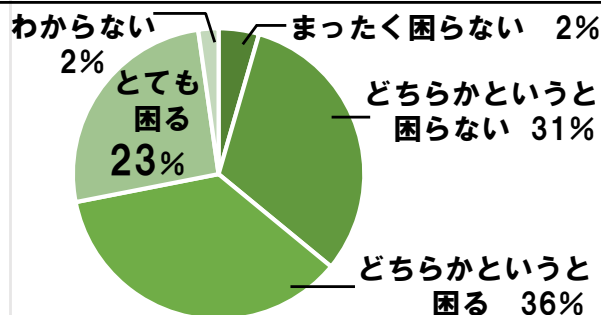
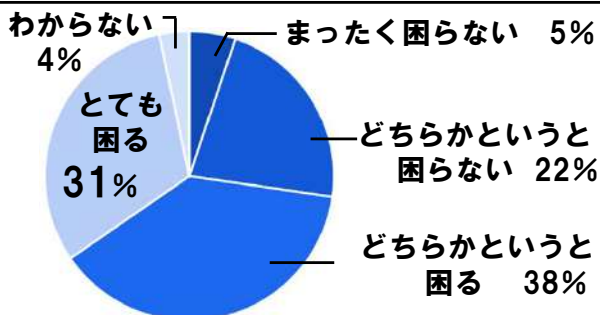
鳥取県民

(調査対象:1,004人)

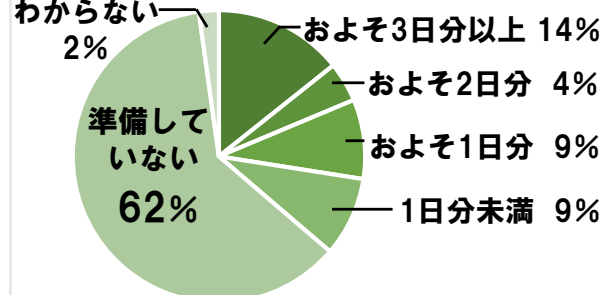
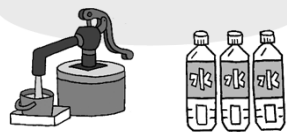
日南町民

(調査対象:94人)

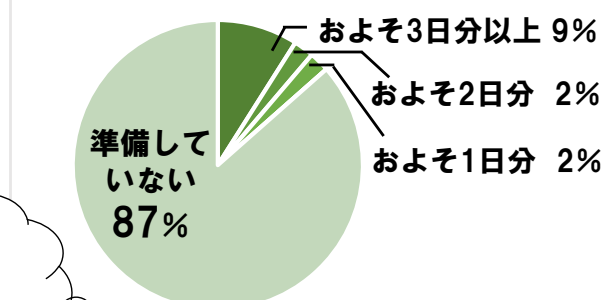
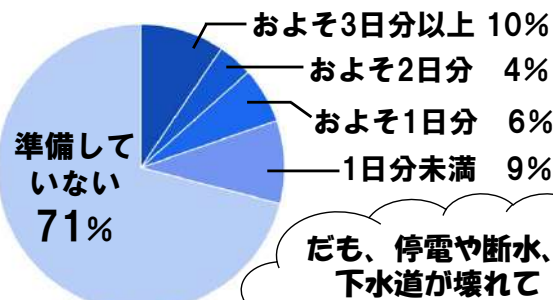
食材備蓄
についての
困り感



飲料水の
備蓄状況



携帯簡易
トイレの
備蓄状況



だも、停電や断水、
下水道が壊れて
トイレが使えん時は、
どげすーだ？

鳥取
県民

「食の備え」に関する意識



今は一人暮らしなので、
そこまで備蓄をしないでもいいと
考えてしまっています。

農家なので、米・野菜はあります。
水は、災害によっては山水が使えないし、
井戸水も停電するとポンプが止まります。
ペットボトルを準備すべき…？

防災物品は準備しているけど、
食事の配給は遅からずあると
期待してあまり準備していません。

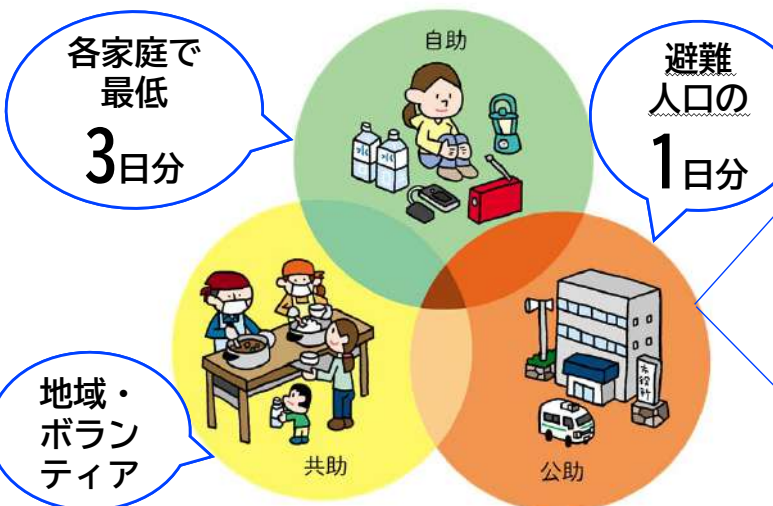
避難所に行くことで、食料や
トイレは助かるかなと思って
います。自分自身で備蓄する
必要性をあまり感じていません。

そもそも役場には
どのくらい備蓄が
あるんじゃ？



県と市町村の備蓄品と数量

鳥取県では、役割分担をあらかじめ定めて備蓄する「**県と市町村の連携備蓄**」に取り組んでいます。



県


避難所で共通利用される大型の資機材
組立式仮設トイレ、ストーブ、発電発電機、
外部給電器、投光器、自動ラップ式トイレ
 ●避難所で必要な数量の概ね半分(各30台)。残
る半分は協定を結んだ民間業者等から調達する。

市町村

住民に身近なもので個人ごとに
必要とされる20品目(下記参照)
 ●不足数量については被災していない市町村や
協定を結んだ民間業者から応援を受ける。

日南町の災害用物資の備蓄状況(令和4年度改訂)

品目		備蓄数量	品目	備蓄数量
① 保存食(乾パン等) ※アレルギー対策品を含む		657 食	⑩ 乾電池(単1・単3)	844 本
② 災害時要援護者用保存食(アルファ米粥等)		100 食	⑪ ブルーシート #3000	149 枚
③ 粉乳・ミルク	粉乳※アレルギー対策品を含む	1 缶	〃 #3000以外	250 枚
	液体ミルク	24 本	⑫ ロープ	8 巻
④ 保存水(500ml・2Lペットボトル)		457 本	⑬ タオル	200 枚
⑤ 飲料水用ポリタンク・給水パック(袋)		1,230 個	⑭ ウェットティッシュ	16 箱
⑥ 哺乳瓶		8 本	⑮ 衛生対策セット (歯磨きシート 60枚・吸熱シート 32枚・ ラップ4本・使い捨てスプーン 500本・ 割りばし 1,200膳・ポリ袋 400枚・ アルコール消毒液 90L)	⑯ ブルーシート張りセット (UV土のう 886枚・防水テープ 30巻・ ビニールハウスロープ 9巻)
⑦ トイレットペーパー		24 ロール		
⑧ 生理用品		52 個	コードリール	5 台
⑨ 折畳式簡易トイレ(パック式セット)	トイレ本体	7 セット		
	収納袋・凝固剤	1,030 袋	発電機	2 台
⑩ 毛布		293 枚	投光器	6 台
⑪ 紙おむつ(大人用)		2,220 枚	ガソリン携行缶	1 個
⑫ 紙おむつ(子供用)		144 枚	給水タンク	1 基
⑬ 救急医療セット		12 セット		
⑭ 懐中電灯		53 個		
⑮ ラジオ		13 台		


 災害が起きると、お金があっても食料品や日用品が買えない、ケガを
しても病院ですぐに診てもらえないといったことが考えられます。
このため、**各家庭において救援がくるまでの間の最低3日分の食料と水、救急
医薬品などを非常持出品として準備**しておいていただき、避難が必要になった
ときは非常用持出品を持って避難していただくようお願いしています。

避難所に行き
何でももらえるわけ
じゃないだな...
自分で備えんと！

避難所
での生活



いつまで避難が続くかわからない状況では、何も持っていないことが不安をより大きくさせます。避難所での実際の避難生活をイメージし、最低限の持出品を準備しておきましょう。

経過
日数

想定される状況

行 動

必要な持出品

高齢者等避難
避難指示



避難生活開始

■人命救助が
最優先



■水が出ない

■手が洗えない

■トイレが流せない

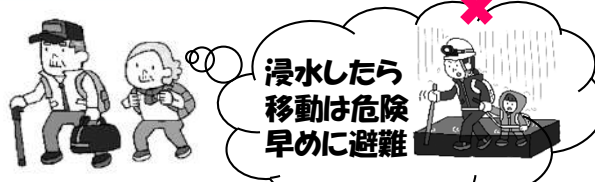
■停電

■せまい空間で寝る

■歯みがきがしたい

■お風呂に入りたい

■温かいものが
食べたくなる



□避難所に行く
(必要な物は自分で持参)

□集まった人で避難所運営

□災害用伝言ダイヤル171で安否確認
□ラジオで情報収集(電話の回線混雑回避)

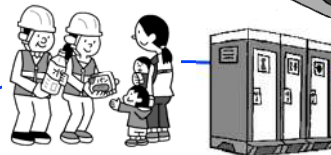
□避難時にぬれてしまったら着替え

不安
対策

発災当日は精神的に落ち着かず、空腹を感じないかもしれません。
いつも食べ慣れているお菓子や飲みものが心を落ち着かせてくれることがあります。

□広い町内一斉に物資の配給は困難。届くまで持参した物で空腹や渴きをしのぐ
□ウェットティッシュや手指消毒液を使う
□災害用トイレを使う

みんなでである方が
安心だわ



給水車、配給、非常用トイレ、炊き出し等の支援が届くまでに数日かかることもあります

避難生活が長引くと**ビタミン、ミネラル、食物繊維**などが不足し、便秘や口内炎になりがちです。

□ハザードマップ
□非常持ち出し袋

中身の例



□にちなん安心キット
□常用薬・お薬手帳
□眼鏡・入れ歯・補聴器
□モバイルバッテリー/
携帯電話の充電器
□タオル □ラジオ
□着替え(下着など)
□ポリ袋・レジ袋
□不安解消グッズ
(絵本・トランプ・お菓子など)
□ウェストポーチ
/ベスト(貴重品用)

□水/お茶 □非常食
□マスク
□ウェットティッシュ
□手指消毒液
□ヘッドランプ
/ランタン/懐中電灯
□寝袋/エアマット

□液体歯みがき
/歯みがきシート
□ドライシャンプー
□使い捨て食器
□ラップ・アルミホイル

持出用オススメ非常食

野菜ジュース・おでん缶詰
ビタミン入りゼリー飲料
くだもの(すぐ食べられる
みかん・バナナ等)・ナッツ

災害救助法が適用され継続実施の必要がある場合は、期間の延長

在宅避難 での生活

ライフラインが止まった中での自宅での生活をイメージし、
必要な物を揃え、対処法を考えておきましょう。



水



■水が出ない(井戸水のポンプが作動しない)

- 水道水が後でにごることも。出るうちにためる。
- 備蓄の水、くみおきの水、エコキュートや電気温水器本体にたまっているお湯を使う。
(事前に取り扱説明書等で操作手順を確認)

- 給水活動が始まれば
もらいに行く。



健康・衛生



- 常用薬が足りなくなる
- トイレが流せない
- 手洗い・歯みがき・洗濯・入浴ができない

- お薬手帳・にちなん安心キットを携帯
- 下水道の無事がわかるまでは
災害用簡易トイレを使う。



停電



- 暗い ■寒い/暑い
- 携帯電話の充電ができない
- 押しボタン式固定電話が使えない
- 冷蔵庫・IH調理器・電気温水器が使えない
- 電子マネー・クレジットカードが使えない

- 冷蔵庫の保冷剤を冷蔵室に移す
(開閉は最小限に)
- 携帯電話を省電力モードにする



食事

- スーパーが営業できない
食料品が売り切れ
- 調理ができない
- 温かいもの・野菜やくだものが不足

- 冷蔵庫の中のもの、買い置きの
ものを食べてしのぐ
- 避難所にもらいに行く



食品の消費の順番(例)

1~2日目
冷蔵庫のもの

冷蔵庫・冷凍庫内のいたみやすいもの
調理不要のもの、自然解凍で食べられるもの
水で洗えたら、買い置きや家庭菜園の野菜

3~7日目
災害食

缶詰やレトルト食品(汚れた水でも湯煎でOK)
無洗米・乾めん・乾物・発酵食品などの保存食
インスタント/フリーズドライ食品
(少量のお湯でOK)

ビタミン・ミネラル・食物繊維がとれる オススメ備蓄食品

常温

野菜ジュース・切り干し大根・根菜
ビタミン入りゼリー飲料・くだもの
乾燥わかめ・ドライフルーツ

冷蔵

チルド惣菜(煮豆・ごぼうサラダなど)

冷凍

冷凍フルーツ・冷凍野菜
(とろろ・枝豆・焼き芋・オクラなど)

災害食 レシピ

水・火・包丁を使わないですぐにできる一品

さばとわかめの酢みそ和え

【材料 2人分】

- さばみそ煮(缶詰)・・・1缶
- 乾燥カットわかめ・・・ひとつまみ
(水で戻さずそのまま)
- 酢・・・小さじ1(お好みで)
- 白ごま・・・大さじ1

材料



さんま、いわし、鮭でもOK

【作り方】ポリ袋に缶汁ごと材料をすべて入れて混ぜる。

材料ぜんぶうちにあるわ
7シにもできそうじゃ



ご意見・
ご感想は
こちらへ





「非常食を一から備えるのは、面倒だしお金がかかる…」と感じる方も多いでしょう。ふだんの買い置きで何日しのげるか確認しましょう。すでに数日分はあるのでは？


条件	例	必要数(量)	いま家にある数	いまの備蓄でしのげる日数
水	飲料水 (調理用も含む) ▶生活用水は別	水(2Lペットボトル)  水/お茶(500ml) 手動の井戸、浄水器など	()本 ()本 あり/なし	計()L ()日分
	調理不要ですぐに食べられるもの 	冷蔵庫内の食材・パック惣菜 生野菜(洗浄済み)・くだもの 常備菜・保存食 レトルト食品(常温で食べられる) ロングライフ食品(牛乳・豆腐等) 缶詰・ゼリー飲料 ドライフルーツ・ナッツ パン・バランス栄養食 オートミール など 	()食分	()日分
	自然解凍で食べられるもの	パン 冷凍野菜 冷凍くだもの 弁当用冷凍惣菜 など	()食分	
食料品(条件別)	少量の水と熱源で食べられるもの 	アルファ化米 冷凍/パックごはん レトルト食品 フリーズドライ食品 インスタント食品 など 	()食分	
	十分な水と調理で食べられるもの 	無洗米 乾めん・乾物 根菜・冷凍食品 家庭菜園の野菜 など 	()食分	
	嗜好品	コーヒー・ジュース お菓子 など	()本	()日分
トイレ	▶排水管が無事と確認できるまで 非常用簡易トイレ ゴミ袋 +ペットトイレ用品 	()人 ×5回×3日 =()回分 以上	()回分	()日分

今の備蓄では足りないもの、買い足したり用意したりしたいものがあれば書き出してみましょう。

メモ



今、災害が発生したとして、状況に合わせ、家にあるものをどんな順に食べてしのげばいいでしょうか。オッサンショウオの家にある食材を使って、考えてみましょう。

想定する状況	水道	給水車 水備蓄	電気	プロパン ガス		朝食	昼食	夕食
災害発生 発災当日	×	×	×	×	避難先の場合	 <div></div> 物資が届くまで		
～3日間	×	×	×	○	在宅避難の場合			
～1週間 復旧まで 数カ月 かかる ことも	×	○	×	○				

その日オッサンショウオの家にあった食材

上の表に
この中から選んで
あてはめてみよう



冷蔵庫内

チルド食品

ハム、ちくわ、豆腐
ヨーグルト、チーズ
ポテトサラダ
煮魚(パック惣菜)

保存食 常備菜

梅干し、漬物、佃煮
きんぴらごぼう、ゆで卵

生もの

生卵、とり肉、豚肉、鮭

生野菜

ミニトマト、キャベツ、もやし

冷凍庫内

自然解凍 OK

パン、とろろ、しらす
焼き魚、からあげ
枝豆、焼き芋、パイ

要加熱

ごはん、うどん、ピラフ
餃子、しじみ、筍、香茸

常温のもの

ペットボトルのお茶
豆乳、缶コーヒー

お菓子、ドライフルーツ、ナッツ

バナナ、みかん、りんご
ジャガイモ、玉ねぎ、にんじん

朝炊いてあったごはん、パン
米、無洗米、アルファ化米
もち、レトルトおかゆ/雑炊

乾燥わかめ、塩昆布、かつお節
切り干し大根、ふりかけ、海苔

レトルト/インスタント食品
缶詰など

畑のもの

ほうれん草
大根、白ネギ
水菜、白菜

その他


調味料、だし



ご意見・
ご感想は
こちらへ



シリーズ オツサンショウオと学ぶ食防災
第8回増刊号 災害時の献立例とレシピ...の巻

想定する状況	水道	給水車 水備蓄	電気	プロパン ガス	★裏面にレシピ紹介 ☆第7回で紹介 ◎広報にちなん10月号「くらしカレンダー」掲載		
発災当日	×	×	×	×	避難先の場合	<div><div>お茶・缶コーヒー・お菓子・パン 常温レトルト雑炊・ナッツ・みかん 使い捨て食器・ラップ・ポリ袋</div></div> <div>物資が届くまで</div>	
	不安・食欲がわからない 余震で火が使えない 包装を開けてすぐに食べられるもの、家にあるもの、食べ慣れたもの					朝炊いてあった ご飯・ふりかけ 豆乳	パン・チーズ・ハム 野菜ジュース バナナ
～3日間	×	×	×	○	在宅避難の場合	★お好み焼きもち ★トマトスープ ゆでたまご 冷凍パイ ヨーグルト	
	洗い物 × ゴミ回収 × カセットコンロ ○ 冷蔵庫・冷凍庫の食材、洗 浄済み野菜、アルファ化米					常温レトルトかゆ 冷凍しらす 自然解凍可の 冷凍からあげ ちぎりキャベツ 冷凍焼き芋	アルファ化米+お茶 なんでもホイル焼き (冷蔵庫の残り食材) ◎切り干し大根の 塩昆布お茶和え 冷凍枝豆
～1週間 復旧まで 数カ月 かかる ことも	×	○	×	○		★親子丼(無洗米) インスタントみそ汁 ポテトサラダ (パック惣菜) 漬物	
	洗い物 × ゴミ回収 × カセットコンロ ○ 無洗米、乾物、缶詰 レトルト/インスタント食品 パック惣菜					とろろごはん (無洗米・冷凍とろろ ・即席スープ) 煮魚(パック惣菜) 佃煮・みかん 野菜ジュース	カップ焼きそば ☆さばとわかめの 酢味噌和え きんぴらごぼう りんご 牛乳
					日持ちするものは		

日持ちするものは
後まわしがええだな

災害食の選び方

必ずしも長期保存のものを買わなくてもよいのです。また、災害時には、いつも慣れ親しんだ味が食べたくなるものです。いつも食べているものの中から、災害時にも適したものを探してみましょう。

主食

- ★★★★ もち(焼くだけ、水・洗い物不要、アレンジ多)
レトルトおかゆ・レトルト雑炊
(水・食器不要、常温でも食べられる、急病時も重宝)
- ★★★ アルファ化米(少量のお湯か水だけでOK)
無洗米、早ゆでパスタ(少量の水と熱源とポリ袋)
カップ焼きそば(少なめに熱湯を注ぎ、途中上下を反転)
- ★ 冷凍ごはん・パックごはん・うどん
(電子レンジが使えない場合は湯煎等が必要)
カップ麺(汁の捨て場所に困る、飲み干すと塩分過多)
そうめん(水量が少ないと塩分過多)

嗜好品など

- ★★★★ 好みの飲み物・いつものお菓子(ホッとする)
- ★★★ バナナ・みかん・ミニトマト(すぐ食べられる、常備しやすい、味の濃い災害食が続く中、新鮮なものは気持ちもリフレッシュし元気が出る)
- ★ バランス栄養食・乾パン(のどを通りにくい)

おかず

- ★★★★ 食べ慣れた常備菜・保存食
わが家定番の食材
- ★★★ 食べ慣れた...
レトルト/インスタント食品・缶詰
自然解凍可の冷凍食品・乾物
パック惣菜(日持ちする、日頃からもう一品欲しい時に使いやすい)
- ★ ふだん食べない...
レトルト/インスタント食品・缶詰
自然解凍可の冷凍食品・乾物
パック惣菜

食べ慣れた味

調理が簡単

- ・そのまま
- ・焼くだけ
- ・湯煎

選ぶ時の
ポイント

食欲がなくても
食べやすい

洗い物や
ゴミが少ない

ライフライン の状況

使えるライフライン別おすすめの災害食レシピ



【ガスパチョ（トマトスープ）】

材 料 ・ トマトジュース（塩入り）……190m l
（2人分） ・ おろしにんにく…… 少々
・ オリーブ油……少々

作り方 ○器に材料をすべて入れて混ぜる。



【アルファ化米の白いごはん】

材 料 ・ アルファ化米（白米）……1袋
（2人分） ・ 水……内側の線まで届く量

作り方 ①中に入っているものを取り出す。
②水を袋の内側の線までそそぐ。
③スプーンでよくまぜて袋を閉じる。
ごはんが柔らかくなるまで待つ。（水：60分、お湯：15分くらい）

お茶や野菜ジュースでももどせます。



【お好み焼きもち】

水と熱源、好みの即席
スープで雑煮もできる！

材 料 ・ もち……4個
（2人分） ・ 好みの調味料（マヨネーズ、ケチャップ、
ソース、鰹節、焼きのりなど）……お好みで

作り方 ①クッキングシートをしいたフライパンに
もちを並べ、ふたをして中火で両面を焼く。
②もちが焼けたら、マヨネーズ、ケチャップ、
ソースをお好みでぬる。
③仕上げにかつお節をかけ、焼きのりで巻く。



【白いごはん】

材 料 ・ 米（無洗米）……1合（150g）
（1合分） ・ 水……1カップ（200ml）

作り方 ①ポリ袋（高密度ポリエチレン製）
に材料をすべて入れる。
②ポリ袋調理
③強火にかける。沸騰したら中火～
弱火にし、さらに20分火を通す。
④火を止めて、そのまま10分おく。
⑤鍋から袋を取り出し結び目を切る。

基本のポリ袋調理



① 空気を抜くよう
に袋を根元から
ねじり上げ、上
の方で結ぶ。



② 鍋の底に皿を
しく。



③ 水を鍋の1/3
の深さまで入
れ、皿の上に
袋を置く。



④ ふたをする。

動画はこちら



【親子丼】

材 料 ・ 焼き鳥缶……1缶 ・ 卵……1個
（1人分）

作り方 ①ポリ袋（高密度ポリエチレン製）
に卵を割り入れ、焼き鳥を缶汁
ごとに入れてまぜる。
②ポリ袋調理
③強火にかける。沸騰したら中火に
して、さらに約5分火を通す。
④火を止めて、そのまま5分おく。
⑤ごはんの上に④をのせる。



ポリ袋があれば
できることが
増える！





「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

- 費用、時間の面で、普段の買い物の範囲でできる
- 買い置きのスペースを少し増やすだけで済む
- 普段よく食べる食品や慣れ親しんだ味のものを用意しておけば、食欲がなくても食べることができる
- 食事に配慮が必要な家族が食べられる物を事前に試しておくことができる。



過去の大震災の日を
点検のタイミングに
するのもオススメ

9/1
関東大震災
防災の日

約半年

3/11
東日本
大震災

ローリングストックQ&A

Q 備蓄食品はどこで買えますか？

A ◆「持続可能」にするためには、いつも利用するスーパー、生協、ドラッグストアなどがオススメです。
◆日頃からよく買う物の中で賞味期限が長めのものでよいのです。
◆ホームセンターやショッピングセンター、百貨などに行った時に、ついでに「防災用品コーナー」で我が家に合ったものや便利な新製品をチェックするのもいいですね。

Q 保管場所がないのですが…。

A ●場所を取る飲料水は分散させる。
●浸水の危険があるご家庭では、2階にも置いておくと、いざという時に慌てません。
●食品は、新たに揃えようと思うと大変ですが、いつも食べているものが災害食として使えると気づくことが大切です。
●「足りない物を足す」と考えると、少しのスペースでも実践できます。

保管場所の例

【食器棚】
おやつ・コーヒー・お茶・常備薬



【2階洗面所】飲料水



見える場所に賞味期限を書く

【食器棚の引き出し】
乾物・缶詰・乾麺・
インスタント食品



【食卓】
果物



【かご】
根菜

【食品庫】
飲料水・熱源・備蓄食品・ストック品



ジャグ

クーラー
ボックス

ごみ袋

ラップ カセットガス
ホイル 使い捨て食器

持出用
バッグ

調味料 飲料 レトルト食品

カセットコンロ

カップ麺 飲料水 米



日常の一部として無理なく楽しみながらできる「ローリングストック」で、持続可能な備蓄をいざ実践！

おすすめの食備蓄

最低
3日分

必需品



飲料水(1人1日3L)



カセットコンロ・カセットボンベ
(1人1週間あたり約6本)



非常用トイレ(1人1日5回分)

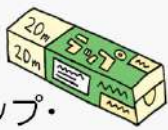
●温かい食事や飲み物は身体を温め、不安を和らげてくれます。お湯があれば食べられる食品も増えます。



あと便利



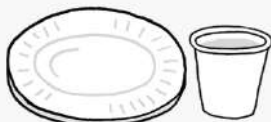
ポリ袋



ラップ・アルミホイル



除菌ウェットティッシュ



使い捨て食器・箸・スプーン



やかん



鍋

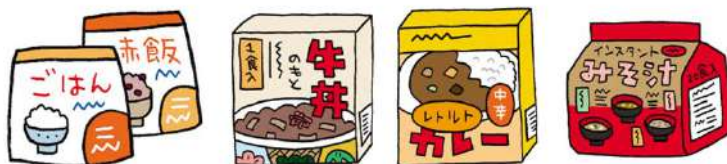


普段料理をする人

常備菜・乾物(梅干し、缶詰、切り干し大根など)



惣菜を買うことが多い人



普段料理をしない人

好きなもの(カップラーメン、菓子類、非常食など)



家族の状況に合わせて

特殊食品は
2週間分



常用薬・とろみ調整食品
レトルトのお粥や雑炊
持病に合わせた食品



ミルク・離乳食
食べ慣れたおやつ
アレルギー対応食品

●東日本大震災では、アレルギー対応食品を1週間以上入手できなかった方が半数以上

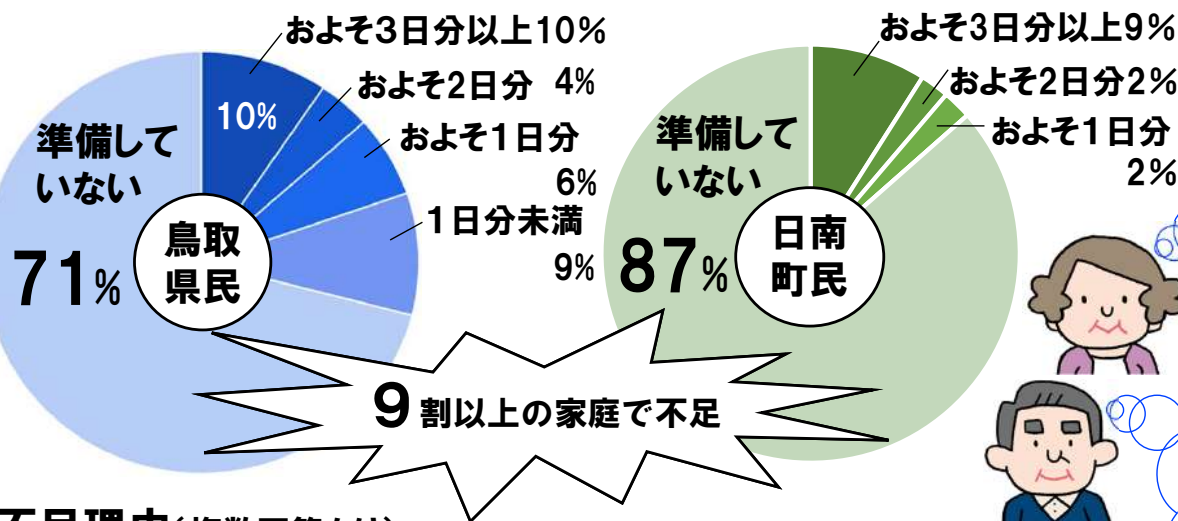
家にあるものも多いな。
まずは必需品を揃えよう！



ご意見・
ご感想は
こちらへ



携帯簡易トイレの備蓄状況



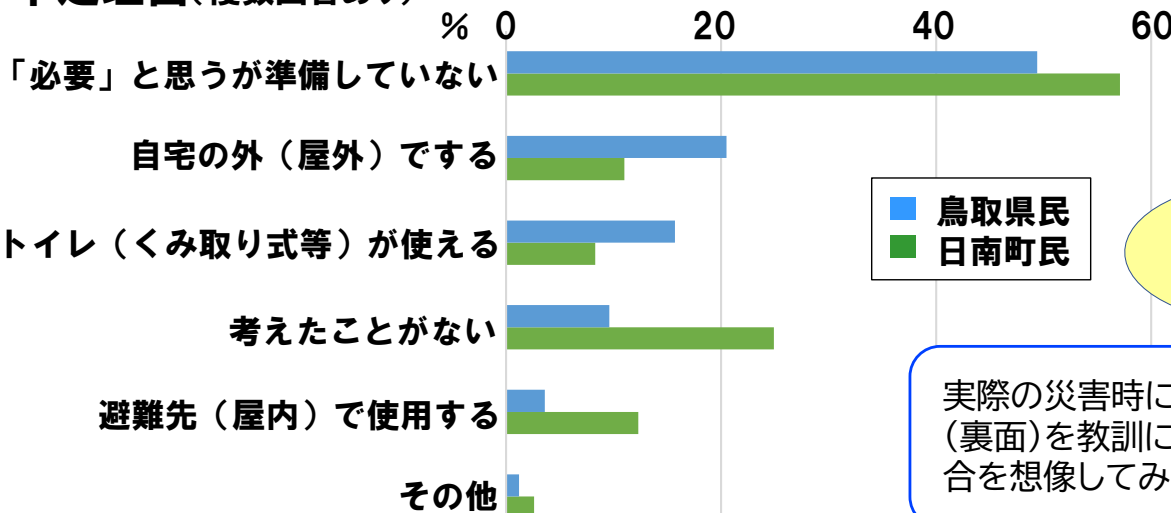
風呂の残り湯を流せばええが...
避難所に行けばトイレがあるし...

井戸水か川の水で流すだわ...
いざとなりゃ、田んぼや畑でもええし...

ほんとに、そげだーか？

実際の災害時に起きた問題点(裏面)を教訓に、わが家の場合を想像してみましょう。

不足理由(複数回答あり)



(アンケート調査)

○実施:鳥取県民『災害時の食の備え』に関する令和2年度調査報告書

○令和3年10月 (鳥取大学医学部保健学科上田研究室)

○協力:鳥取県栄養士会 ○回答:1,004人(鳥取県内全市町村)

○日南町民『災害時の食の備え』に関する調査

○令和4年4月 (鳥取大学医学部保健学科上田研究室)

○協力:日南町 ○回答:92人

断水時

水は出ません。

停電時

電動井戸ポンプは作動しません。
トイレの仕様によっては、
トイレが使えなくなる
可能性があります。

※停電時のタンクレス

トイレの手動操作方法は
説明書やメーカーのHPで
ご確認ください。

コンビニのトイレも
公民館のトイレも
同じです...

断水でなくても

排水管の無事が確認できるまで水は流せません。



無理に流すと復旧に時間がかかります。



アパート等では階下に迷惑がかかる場合があります。

水洗トイレのご家庭でも災害用トイレの備蓄があると安心です

災害時の避難所におけるトイレをめぐる問題点

- 災害時には、**仮設トイレがすぐに避難所に届くとは限らず、避難者数に比べてトイレの個数が不足する**ことがあります。
- 東日本大震災においては、発災から数日間で、トイレが排泄物の山になり、劣悪な衛生状態となったところも少なくない。
- トイレの設置場所が暗い、和式トイレである、段差がある等の問題により、高齢者、障害者、女性、子供等にとって使用しにくいものもあった。
- トイレの使用を減らすために水分や食事を控えることとなり、避難者の心身の機能の低下や様々な疾患の発生・悪化が見られた。



すぐに来るわけじゃないのね…

長蛇の列かも…



和式だと
しゃがめるか不安
段差も怖い

夜間や悪天候でも、
屋外まで行くのか…



家庭でのトイレ備蓄Q&A

Q 必要量はどれくらいですか？

A

1日5回×家族の人数×最低3日分
できれば7日分

4人家族なら、**60～140**回分

Q どんな種類がありますか？

A



洋式便器などに設置
して使用するタイプ。
(便袋・凝固剤など)



ゼリー状に
固める携帯
タイプ。



組み立て式の
ポータブル
トイレ。

いつも多めにストックを



排水管に異常が
なければ流せます。



手が洗えない
時に備えて…



非常用携帯トイレの使い方



①便座を上げて、便器
にゴミ袋をかぶせて
便座を下ろす。

②汚物袋を便器に
セットして凝固剤
を入れる

③用を足した後、
袋をしっかり結んで
廃棄する



なるほど！
トイレを備えておくことで
震災関連死を防ぐことにも
つながるんじゃな。

ご意見・
ご感想は
こちらへ





フェーズ フリー とは…？

時期、状態、局面 なし、しばられない

「平常時」と「災害時」を分けず、いつも利用しているものやサービス、アイデアをもしもの時にも役立てるという考え方です。

ご意見・感想はこちらへ



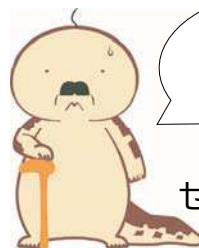
これまでの防災

平常時



災害時

どこに
しまった
かいな？



どげして
使うだ？

せっかく備えていても
意味がない…

フェーズフリー

平常時



災害時

いつも
使っとるけん
いつもどおり！



無駄がない！

慌てない！

例えば



いつもの昼ごはんも
災害食に

そなえる



ローリング
ストック

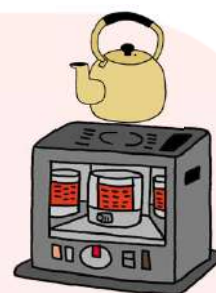
食べる



買う



カセットコンロで
鍋料理



停電時も暖房や
湯沸かしなど重宝



キャンプ等
アウトドアレジャー



日ごろの
近所づきあい



地域行事への参加が
炊き出しの訓練に



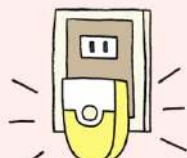
家への連絡に
公衆電話を使う



非常用電源になる
EV, PHV



車内充電できる
ACアダプター



懐中電灯に
なる足下灯



充電式ランタン
を読書灯に



井戸水の
利用

災害時
協力井戸
募集中

水質検査無料
(条件あり)
詳細は日南町
役場建設課へ

情報は命綱！信頼できる情報源を日頃から使い慣れておこう



中海テレビ放送

123ch

日野川の
水位が危険！



米子市 大雨警報【発表】 暴風警報【発表】 境港市 大雨警報【発表】 暴風警報



日野川上流の水位が上昇しています。氾濫した水は上流側から地盤の低い下流



無料

おすすめアプリ



あんしん トリピーなび	<ul style="list-style-type: none"> 登録地域、ジャンルの防災情報を通知 多言語対応 ・ 付近の河川や道路の状況のライブ画像
NHK ニュース防災	<ul style="list-style-type: none"> ニュースや速報、天気予報、ハザードマップ、災害情報が確認できる テレビがない場所でもNHKのニュースが見れる ・ 信頼性
radiko (ラジコ)	<ul style="list-style-type: none"> スマホやパソコンでラジオが聴ける ・ 速報性、安心感 バッテリーとデータ通信料の消費が動画配信より少ない
Yahoo!防災速報	<ul style="list-style-type: none"> 登録地域の防災情報を迅速に通知 災害の種類に応じた多彩な情報で行動の判断をサポート 緊急連絡先等を表示、タップで通報 安否登録、安否確認が簡単 家族構成に応じて備蓄品、持出品リストを表示

日南町内
27カ所



大雪、買い物が大変、突然のコロナ療養、料理が面倒・・・そんな時にも

- ☐ 飲料水 (1人1日3L)
- ☐ いつもの食糧 (7日分)
- ☐ カセットコンロ カセットボンベ (1人1週間 あたり約6本)

不足しがちな栄養が補える
「いつも」も「もしも」もおすすめの食品

お家にあるこんな食べ物も
実は、備蓄食品です♪



自然解凍後
そのまま食べられる
冷凍食品



加熱しなくても
食べられる野菜



そのまま食べられる
レトルトおかゆや
野菜スープ、
離乳食、介護食等



焼き海苔
海苔



果物



チーズ



魚肉ソーセージや
ハム、ちくわなど

●（実施）2021 年度とっとりプラットフォーム 5+α 共同研究事業活動推進助成

鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築（継続）

（鳥取大学大学院工学研究科 准教授 浅井秀子／日南町総務課・企画課）

【事業報告】

近年、地震に伴い発生した土砂災害や豪雪、集中豪雨災害により多数の孤立集落が発生している。そのため内閣府では、平成 17 年度より「中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況調査」を実施し、平成 25 年度には、3 回目のフォローアップ調査を実施している。鳥取県の対象集落は、898 集落(H25 年度調)で、そのうち「孤立可能性がある」は 100 集落(11.1%)である。また鳥取県は、独自に 1990 年から 5 年おきに、特に山間地域の最奥部集落に居住する住民の日常生活の状況等を把握し、次期の施策の基礎資料とすることを目的とし、「山間集落实態調査」を実施している。

これらの実態を踏まえて、本事業は、鳥取県が独自に実施している 2016 年度「山間集落实態調査」をもとに孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムを構築することを目的としている。

○令和 4 年度実績

1. モデル自治体での実態調査

鳥取県内の日南町、大山町、智頭町をモデル自治体とし、そのうち 2016 年度「山間集落实態調査」をもとに孤立の可能性ある集落 21 集落(智頭町 8 集落・大山町 5 集落・日南町 8 集落)を対象に実態調査を行う。

(1) 日南町全体の自主防災組織(自衛消防団)に対するアンケート調査

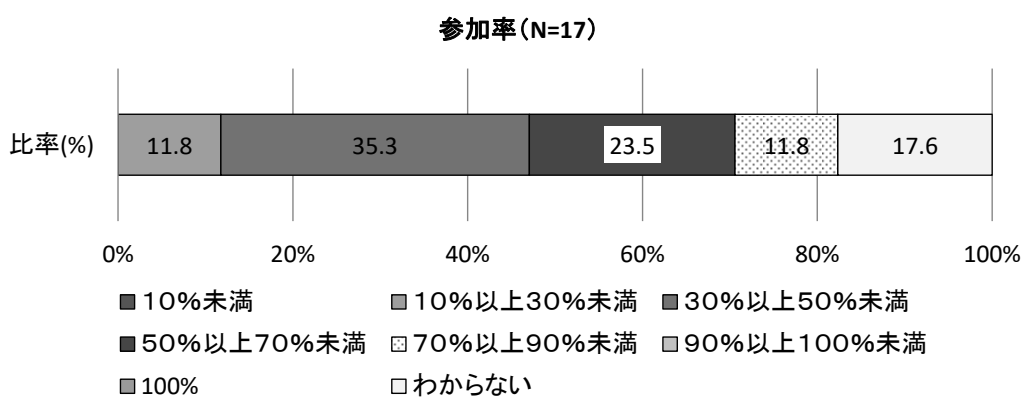
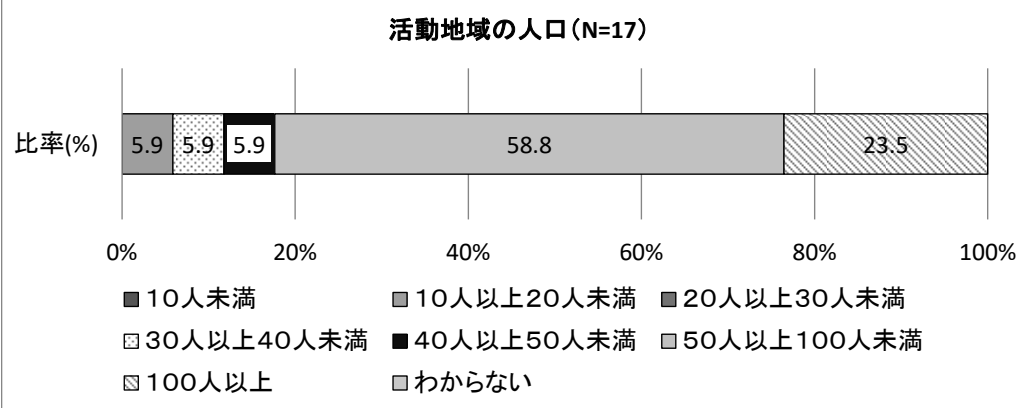
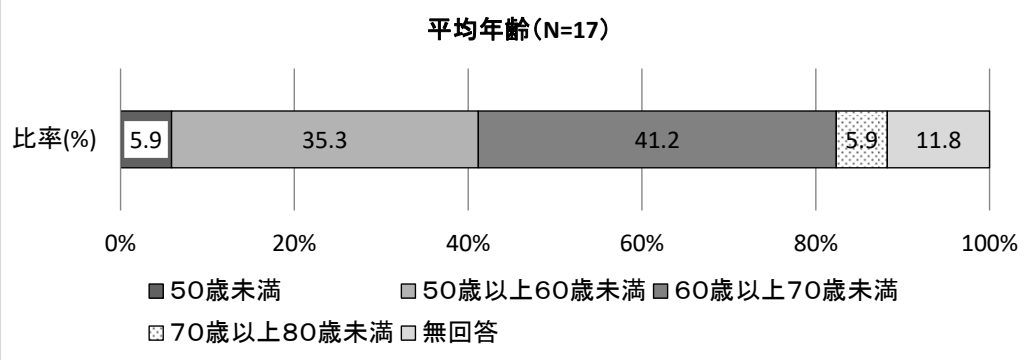
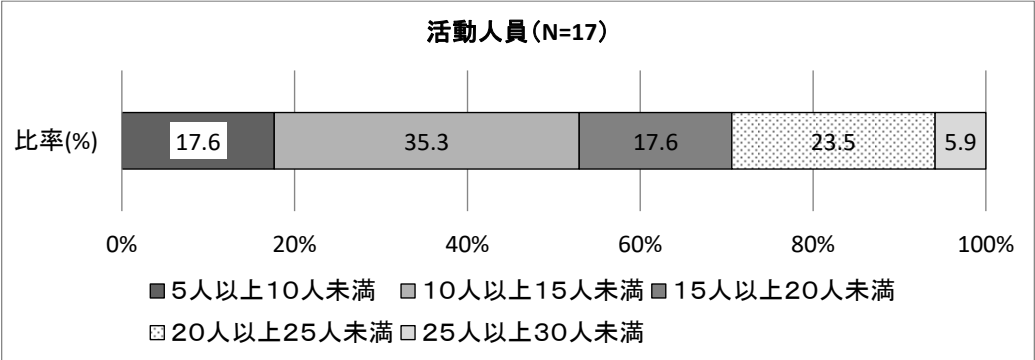
調査時期：2023 年 8 月 25 日～9 月 30 日

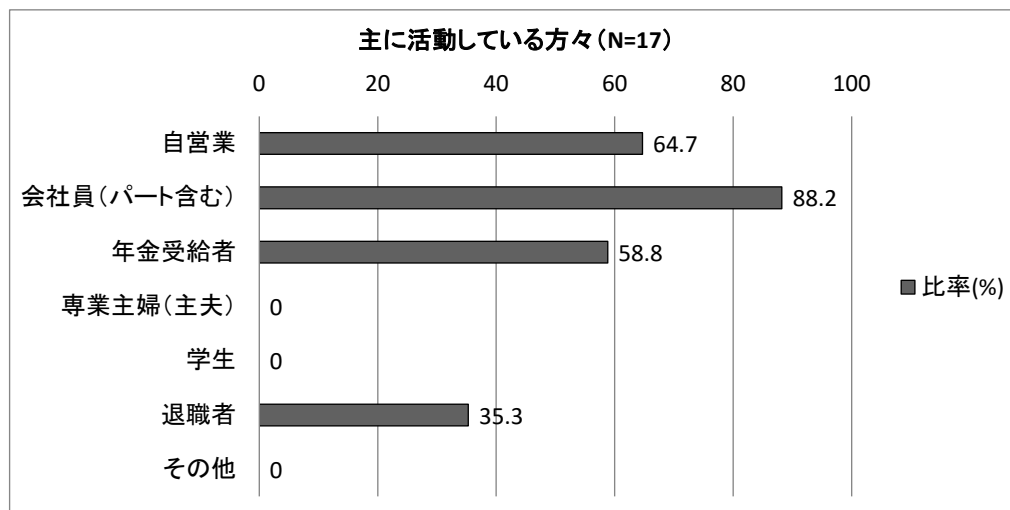
調査対象：日南町全域 33 自治会の自主防災組織(自衛消防団)代表者

回収率：51.5%(17 件回収)

調査結果

アンケート調査結果の一部を抜粋する。「災害が発生した後の対応においてどのようなことが心配ですか(複数回答可)」については、「避難行動要支援者の避難支援体制」12 件(70.6%)、「自主防災組織の活動能力」「避難所の運営」8 件(47.1%)である。「自然災害が起きた場合、どのような行動を行うつもりですか」について、「できる」「半分くらいできそう」を合わせて、「火災発生時の初期消火」「地域内の見回り等の防災活動」15 件(88.2%)、「地域の被害や住民の安否に関する情報の収集・伝達」「避難場所への地域住民の誘導」13 件(76.5%)である。自由記述では、「消防団員の高齢化」「団員数の減少」「高齢化に伴う存続の危機」などである。以上のことより、現在は、限られた人数で活動を行いながら、出来る範囲の防災活動を行っているが、今後の見通しはつかない状況であることがわかった。





(2) 孤立の可能性ある集落に対する自主防災組織(自衛消防団)組織員に対するアンケート調査

日南町の調査対象集落は、以下の 8 集落であるが、そのうち 10 世帯未満の集落を除く 6 集落を対象とする(日南町への聞き取り調査による 2022 年度調査対象世帯数)。

呼子(10 世帯)、大菅(16 世帯)、上坂(12 世帯)、奥萩松原口(12 世帯)、山裏(11 世帯)、仲屋(10 世帯)
野組(8 世帯)、大谷(2 世帯)

調査時期：2023 年 8 月 25 日～9 月 30 日

調査対象：孤立の可能性ある集落 6 自治会 71 世帯(呼子、大菅、上坂、奥萩松原口、山裏、仲屋)の自主
防災組織(自衛消防団)組織員

回収率：26.8%(19 人回収)

調査結果

アンケート調査結果の一部を抜粋する。「自主防災組織の行事や活動にどれくらい参加されていますか」について、「ほとんど参加している」「どちらかというに参加している」を合わせて、11 人(57.9%)である。「自主防災組織が衰退するとどのような影響があると考えますか(複数回答可)」については、「火事・水害等あらゆる災害から地域を守れなくなる」10 人(52.6%)、「地元意識が薄れ、地域を守り、お互いに助けあうといった精神がなくなる」7 人(36.8%)である。以上のことより、自主防災組織の必要性は感じているが、加入の動機が消極的なため、積極的に活動の企画や運営を行っているとは言い難いことがわかった。

2. モデル集落内での勉強会

モデル集落内における勉強会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も緊急事態宣言や鳥取県新型コロナ警報が発令されていたため延期した。

【3者協定に基づく連携事業】

●（実施）中山間地域の課題解決に関する連携協定（新規）：その他連携事業

（鳥取大学／日南町／ソフトバンク）

本協定は、ICTの利活用をベースとし、中山間地域の課題解決を行い、SDGsの各項目を協働で推進することで、持続可能な中山間地域のモデルケースを創造し、暮らしやすいまちづくりの実現に資することを目的として令和2年8月21日に締結した。

当初は4つのプロジェクトチームを設置していたが、現在は日南町ショートタイムワークプロジェクトのみ推進している。町の課題解決のため、引き続き新たなプロジェクトの推進を行っていく。

日南町ショートタイムワーク

（鳥取大学 講師 木原奈穂子 / 日南町企画課 / ソフトバンク）

【現状と課題】

令和元年度に実施した日南町『雇用・就労アンケート』において、60代、70代の雇用の場を求める声は非常に多い状況。

また、高齢者だけでなく子育て世代のお母さんなど、フルタイムは困難でも、ショートタイムなら働ける方々を、働き手を求める企業と繋げる仕組みを町内企業と連携し進めていくことが今後重要となる。

全国、米子市と比較しても日野郡内の求人は高い状況。

ショートタイムテレワーク、ショートタイムワーク等の仕組みを活用した業務管理、業務委託、業務発注のシステム構築目指し、人手不足の解消を図る。

【令和4年度実績】

実施日	活動内容	詳細・備考
R4.4.14	オンライン打合せ	プロジェクト運営の新体制の確認
R4.5.12	オンライン打合せ	ホームページでのマッチング，次回イベント内容の検討
R4.5.25	連携協議会	近隣町との情報共有 広域連携体制の打合せ（第1回は2022.1.21）
R4.5.31	オンライン打合せ	第3回おしごとバンク交流会の打合せ
R4.6.3	第3回 おしごとバンク交流会	道の駅にちなみ日野川の郷で実施
R4.6.7～8	まちづくり協議会調査	まちづくり協議会の運営と人手不足状況の調査
R4.6.13	オンライン打合せ	交流会の反省と今後のあり方の検討
R4.7.20	オンライン打合せ	マッチングのあり方と実施体制の検討
R4.8.17	オンライン打合せ	実施体制の検討
R4.8.18	連携協議会	情報共有，広域連携体制の検討
R4.9.7	オンライン打合せ	実施体制と次回イベント（ふる里まつり）の検討
R4.8.22～ 9.21	夏季インターン	日南町内の短期事業体験と地域おこし協力隊活動体験
R4.9.22	連携協議会	情報共有、広域連携体制の検討
R4.10.5	オンライン打合せ	次回イベント（ふる里まつり）の確認

R4. 10. 27	連携協議会	情報共有、広域連携の検討
R4. 10. 30	おしごとバンク交流会 成果報告会	「おしごとバンク交流会」の名称変更調査 対面での打合せ
R4. 11. 29	連携協議会	情報共有、広域連携体制の検討
R4. 11. 30	オンライン打合せ	名称編子の結果共有と次回イベントの検討 今後のマッチング運営体制の検討
R4. 12. 16	オンライン打合せ	今後の運営体制の検討
R5. 1. 6	オンライン打合せ	次回イベント（にちなん・スキマ de お手伝い）の検討
R5. 1. 10	連携協議会	情報共有、広域連携体制の検討
R5. 2. 16	第 1 回 スキマ de お手伝い	農村での働き方の勉強会を実施 今後の運営体制の検討
R5. 3. 29	オンライン打合せ（予定）	今後の運営体制、マッチング体制の検討

【おしごとバンク】

これまで3回の交流会を実施

累計参加事業者：27 社

累計参加者数：13 人

成立件数：5 件

参加者の意見

- ・自分でもできる仕事が見つかった
- ・もっとたくさんの職種が欲しい
- ・視野が広がった など
- ・直接企業の方とお話できてよかった
- ・もう少し広報してほしい

【今後の取り組み】

- ・「にちなん・スキマ de お手伝い」で定期的な働き方の勉強会を実施
- ・「仕事」と人をつなぐ仕組みの構築として、交流会の在り方、HP を活用したマッチングの方法、運営体制の検討を行う

令和4年度鳥取大学・日南町連携事業一覧

- （実施）「にちなんふる里まつり」に連携する出前科学実験教室（継続）：地域実践教育活動
（技術部総括技術長 三谷秀明 ／ 日南町教育委員会）

- （中止）国際理解講座「外国の文化に触れよう」（継続）：地域実践教育活動
（国際交流センター 准教授 御館久里恵 ／ 日南町図書館）

- （実施）とっとり暮らし早期体験学習（継続）：地域創生推進プログラム
（地域価値創造研究教育機構 教授 清水克彦 ／ 日南町企画課）

- （実施）200年の森調査（新規）：その他連携事業
（鳥取大学農学部 教授 日置佳之・関戸志緒里 ／ 日南町企画課）

- （実施）「広報にちなん」の折込チラシを活用した食防災（一般防災含む）に関する啓発の実践（新規）
（鳥取大学医学部保健学科 講師 上田悦子 ／ 鳥取県栄養士会 ／ 日南町総務課）

- （実施）鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築
（継続）：とっとりプラットフォーム5+ α 共同研究事業活動推進助成
（鳥取大学大学院工学研究科 准教授 浅井秀子／日南町総務課・企画課）

- （実施）日南町ショートタイムワーク（継続）：その他連携事業
（鳥取大学 農学部 講師 木原奈穂子 ／ 日南町企画課 ／ ソフトバンク）

【令和4年度までの主な経緯】

【平成16年度】

- (1) H17. 2. 8 矢田日南町長、内田課長 鳥大訪問
- (2) 3. 23-24 岩崎理事外日南町訪問（情報交換会、にちなん環境林視察）

【平成17年度】

- (3) H17. 4. 21 本名農学部長、日置教授外日南町訪問、視察（県庁林政課同行）
- (4) H18. 2. 21 矢田日南町長、内田課長来学 学長、岩崎理事、林監事外訪問
- (5) 2. 28-3. 1 岩崎理事、林監事外 日南町訪問（意見交換会、町内小学校等視察、協定の調印式）

【平成18年度】

- (6) H18. 4. 20 第1回ワーキンググループ会議 ～H19. 3. 24 第4回WG会議
- (7) 7. 7 地域活性化教育研究センター開所式及び記念講演会（能勢学長講演）
- (8) H19. 3. 25 鳥取大学・日南町連携事業成果報告会（日南町役場交流ホールにて）

【平成19年度】

- (9) H19. 4. 1 鳥取大学社会貢献推進課における日南町職員の派遣研修（手嶋主事）
- (10) 4. 16 30年後プロジェクト有識者会議
- (11) 4. 20 第1回WG会議 ～H20. 3. 2 第3回WG会議
- (12) H20. 3. 2 連携事業成果報告会（日南町生涯学習まちづくりフォーラム共催）

【平成20年度】

- (13) H20. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（高橋主任）
- (14) 4. 19 30年後プロジェクト有識者会議
- (15) 5. 8 第1回WG会議 ～H21. 2. 15 第3回WG会議
- (16) H21. 2. 15 連携事業成果報告会（日南町生涯学習まちづくりフォーラム共催）

【平成21年度】

- (17) H21. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（荒金主事）
- (18) 6. 9 第1回WG会議 ～H22. 3. 12 第3回WG会議
- (19) 9. 9-11 明治大学「M-Nav」プログラムによる日南町訪問
- (20) 9. 16 「日野郡フィールド実践による地域づくりセミナー」過疎プロジェクト報告会開催
- (21) H22. 1. 22 「大学連携によるまちづくり」能勢学長講演会／連携事業報告会
- (22) 2. 18-19 明治大学菊地ゼミによる日南町訪問・意見交換

【平成22年度】

- (23) H22. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（荒金主事2年目）
- (24) 4. 19 第1回WG会議 ～H23. 3. 12 第3回WG会議
- (25) 9. 9 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (26) 11. 24 日南町議会・教育委員会合同研修会
- (27) H23. 2. 1 明大・鳥大合同セミナー「日南町地域活性化への提言」
- (28) 3. 12 「地球温暖化と日南町の挑戦」中村名誉教授講演、連携事業報告会

【平成23年度】

- (29) H23. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（石倉主事）
- (30) 5. 6 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～12. 2 計10回開催
- (31) 6. 15 第1回WG会議 ～H24. 3. 3 第3回WG会議
- (32) 10. 24 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (33) 11. 20-22 明治大学菊地准教授ゼミ生による日南町訪問・意見交換
- (34) H24. 3. 3 連携事業成果報告会（同日、日南町環境フォーラム開催）

【平成 24 年度】

- (35) H24. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（石倉主事 2 年目）
- (36) 4. 28 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～12. 8 計 10 回開催
- (37) 6. 8 第 1 回WG会議 ～H25. 3. 2 第 3 回WG会議
- (38) 8. 20 インターンシップ受入（～8. 31 のうち 10 日間）
- (39) 10. 24 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (40) 11. 16 にちなん「農家楽」セミナー開催
- (41) H25. 1. 25 日南町自治協議会・自治会長会合同研修（乾燥地研究センター見学）
- (42) 3. 2 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 25 年度】

- (43) H25. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（川上主事）
- (44) 5. 17 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～翌 26. 3 計 11 回開催
- (45) 6. 11 第 1 回WG会議 ～H26. 3. 9 第 3 回WG会議
- (46) 9. 9 インターンシップ受入（～9. 13 工学研究科 学院生 3 名）
～H25. 11. 11 報告会を開催（日南町役場にて）
- (47) 10. 2 日南町森林活用プロジェクト会議の立ち上げ
第 1 回日南町森林活用プロジェクト会議 ～H25. 12. 5 第 2 回会議
- (48) 11. 12 四町連携（日南、南部、大山、琴浦）合同企画
鳥取大学連携シンポジウムを開催（琴浦町にて）
- (49) 3. 9 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 26 年度】

- (50) H26. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（川上主事 2 年目）
- (51) 5. 16 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～翌 27. 3 計 12 回開催
- (52) 6. 1 鳥取大学知（地）の拠点整備事業シンポジウムを開催（増原町長出席）
- (53) 6. 10 第 1 回WG会議 ～H27. 2. 28 第 3 回WG会議
- (54) 7. 31 第 1 回日南町森林活用プロジェクト会議 ～H26. 11. 5 第 2 回会議
- (55) 9. 9 ハーブの利用に関する研究会が解散
- (56) 9. 29 オーダーメイド型インターンシップ開催（～10. 3 工学研究科 6 名）
～H26. 12. 1 報告会を開催（日南町役場にて）
- (57) 10. 12 鳥取大学風紋祭に炊き込みご飯を出展（四町連携事業）
- (58) 2. 9 4 タウンストーリーズ（地域の課題解決に取り組んだ学生たち）
研究展示会を開催（～2. 26 鳥取大学広報センター）
- (59) 2. 24 日南小学校にて高齢者疑似体験学習を開催（医学部山本教授）
- (60) 2. 28 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 27 年度】

- (61) H27. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（古川主事）
- (62) 4. 17 鳥取大学連携講座 平成 27 年度「にちなん町民大学」開校～翌 28. 3 計 13 回開催
- (63) 5. 9 「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）
- (64) 6. 2 第 1 回WG会議 ～H28. 2. 28 第 3 回WG会議
- (65) 7. 1 地域学部「地域学入門」にて、古川派遣職員が鳥大と日南町の連携について説明
- (66) 7. 15 とりりん・オッサンショウオ木製パネルの鳥大への贈呈式（鳥取大学広報センター）
- (67) 7. 15 「公共政策論 I」にて、増原町長が『「創造的過疎」のまちづくり』と題して講演
- (68) 7. 30 放置財研究会が発足
- (69) 8. 20 子ども支援連絡会議を開催（計 3 回開催）
- (70) 9. 5 日南町まちづくり大会～まち（むら）づくり協議会 10 周年＆鳥取大学×日南町連携協定 10 周年記念事業
～（日南町総合文化センターさつきホールにて）
- (71) 10. 10 鳥取大学風紋祭に炊き込みご飯を出展（5 町連携事業）
- (72) 10. 25 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2015（9 年目）
- (73) 12. 11 大宮で現地報告会を開催
（地域貢献支援事業「コミュニティ力向上に向けたワークショップスキームの開発」）
- (74) 2. 27 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）
- (75) 2. 29 WG 会議が平成 27 年度鳥取大学長表彰「社会貢献賞」を受賞

【平成 28 年度】

- (76) H28. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（佐伯主事）
- (77) 5. 14 「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）
- (78) 7. 6 第 1 回WG会議 ～H29.3.5 第 3 回WG会議
- (79) 7. 20 鳥取大学公開講座 平成 28 年度「にちなん町民大学」開校～翌 29.3 計 3 回開催
- (80) 6. 29 地域学部「地域学入門」にて、佐伯派遣職員が鳥大と日南町の連携について説明
- (81) 8. 1 阿毘縁解脱時にて、前鳥取大学長の能勢隆之先生が「健康幸福寿命」について講演
- (82) 9. 12 第 3 回放置財研究会を開催（鳥取県庁にて）
- (83) 10. 23 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2016（10 年目）
- (84) 11. 5 秋の図書館祭りに併せ「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）
- (85) 11. 10 地域学部「地域就業論」にて、日南町古川主事が「公務員として地域で働くこと」について講演
- (86) 12. 12 阿毘縁お墓山にて、農学部学生が樹木銘板を設置
- (87) 12. 18 大宮で現地報告会を開催（大宮まちづくり協議会／地域学部福田教授、筒井准教授との連携）
- (88) H29. 3. 5 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

【平成 29 年度】

- (89) H29. 4. 1 鳥取大学社会貢献推進課における日南町職員の派遣研修（佐伯主事 2 年目）
- (90) 5. 13 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）
- (91) 5. 15 インターシップ受入（～5.19 農学部学生 1 名）
- (92) 7. 13 第 1 回WG会議～H29.3.3 第 3 回WG会議
- (93) 8. 5 日野川水系における水質調査報告会を開催（日南町総合文化センターにて）
- (94) 8. 9 鳥取大学の学生を招き「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）
- (95) 8. 28 インターンシップ受入（～10.30 農学部学生 3 名）
- (96) 9. 15 地方創生政策体験学習を実施（9.15～17 までの 3 日間、日南町地内にて）
- (97) 10. 22 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2017（11 年目）
- (98) 12. 9 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）
- (99) H30. 1. 28 「ITS セミナー in 鳥取」にて、企画課出口室長、西田主幹が町の取組みを報告
（東京大学次世代モビリティセンター主催／鳥取大学共催）
- (100) 3. 3 連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）
- (101) 3. 23 大宮で現地報告会を開催（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）

【平成 30 年度】

- (102) H30. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構企画管理室における日南町職員の派遣研修（牧主事）
- (103) 5. 8 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（にちなんめしふえす）
- (104) 7. 5 第 1 回WG会議～H30.3.2 第 2 回WG会議
- (105) 8. 10 鳥取大学の学生を招き「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）
- (106) 8. 25 地方創生政策体験学習を実施（8.25～28 までの 4 日間、日南町地内にて）
- (107) 10. 28 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2018（12 年目）
- (108) 12. 15 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井教授との連携）
- (109) 1. 10 日南町民大学で「日南町の多様な地質から読み解く地球の歴史」と題して講演
（農学部生命環境農学科菅森講師）
- (110) 3. 2 連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）

【令和元（平成 31）年度】

- (111) H31. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構企画管理室における日南町職員の派遣研修（牧主事 2 年目）
- (112) R 1. 5. 8 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（にちなん中国山地林業アカデミー）
- (113) 7. 1 日通共生の森 10 周年記念事業生態系調査（7/8, 13、8/22、9/17、10/25）
- (114) 7. 16 第 1 回WG会議～R2. 2. 29 第 3 回WG会議
- (115) 8. 7 「国際理解講座」の開催（日南町総合文化センターにて）
- (116) 9. 3 地方創生政策体験学習を実施（9. 3～6 までの 4 日間、日南町地内にて）
- (117) 10. 6 町制 60 周年記念式典のアトラクションコーナーにて、鳥取大学ジャズ&フュージョン研究会が演奏
- (118) 10. 20 にちなん日和 2019 にて、鳥取大学吹奏楽団ウインドアンサンブルが演奏
- (119) 10. 27 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2019（13 年目）
- (120) R 2. 1. 10 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井教授との連携）
- (121) 2. 29 【中止】連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）
- (122) 3. 24 【中止】日南町民大学で「鳥取県指定天然記念物に指定される「日南町神福のサクラソウ群落」の講演
（農学部生命環境農学科永松教授）

【令和 2 年度】

- (123) R 2. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構地域連携推進室における日南町職員の派遣研修（中嶋主事）
- (124) 4. 1 日南町福万来におけるゲンジボタル生息水域の調査（日南町福万来地内にて）
- (125) 4. 9 日通共生の森 10 周年記念事業生態系調査（2 年目）
- (126) 6. 22 第 1 回WG会議～R3. 3. 9 第 3 回WG会議
- (127) 7. 15 日南町民大学で「鳥取県指定天然記念物に指定された「日南町神福のサクラソウ群落」について講演
（農学部生命環境農学科永松教授）
- (128) 8. 2 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町で体験活動（にちなん中国山地林業アカデミー）
- (129) 8. 21 中山間地域における課題解決及び SDGs 推進に関する連携協定
- (130) 9. 3 地方創生政策体験学習を実施（8. 31～9/3 の 4 日間、日南町地内にて）
- (131) 10. 24 【中止】にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2020（14 年目）
- (132) R 3. 3. 1 連携事業成果報告会を開催
- (133) 3. 30 「国際理解講座」の開催予定（日南町総合文化センターにて）

【令和 3 年度】

- (134) R 3. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構地域連携推進室における日南町職員の派遣研修（中嶋主事 2 年目）
- (135) 4. 1 日南町ショートタイムワークプロジェクト（2 年目）
- (136) 4. 1 日南町福万来におけるホテルによるエコツーリズム振興のための研究（日南町福万来地内にて）
- (137) 4. 1 鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築
- (138) 6. 22 第 1 回WG会議～R3. 3. 31 第 2 回WG会議
- (139) 8. 21 中山間地域における課題解決及び SDGs 推進に関する連携協定
- (140) 10. 24 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2021（15 年目）
- (141) 11. 21 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町で体験活動（にちなん中国山地林業アカデミー）
- (142) 【中止】地方創生政策体験学習
- (143) 【中止】「国際理解講座」

【令和 4 年度】

- (144) R 4. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構地域連携推進室における日南町職員の派遣研修（中嶋主事 3 年目）
- (145) 4. 1 日南町ショートタイムワークプロジェクト（3 年目）
- (146) 4. 1 200 年の森樹木調査事業（日南町阿毘縁地内にて）
- (147) 4. 1 鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築
- (148) 4. 1 広報の折込チラシを活用した食防災（一般防災含む）に関する啓発の実践
- (149) 6. 26 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町で体験活動（にちなん中国山地林業アカデミー）
- (150) 10. 24 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2021（15 年目）
- (151) 11. 21 【中止】「国際理解講座」